

高知県立大学 健康栄養学部

# 学部報

第6号

平成27(2015)年度

## 「学部報」第6号発刊にあたって

高知県立大学

健康栄養学部長 村上 尚

平成 27 (2015) 年度は、本学にとって節目となる年でした。一つは、平成 21 (2010) 年以來の外部認証評価を受けたことです。認証評価にかかわらず、自らの大学・学部の教育・研究の向上に取り組んでいるところですが、自己評価報告書をまとめ、認証評価を受けることで自らを見直すよい機会となりました。二つめとして、本学は前身の高知女子大学の時代から、地域に根ざした大学を志し、社会にとって即戦力となる有為な人材を輩出してきています。平成 25 (2013) 年度には、地域の活性化を目指して地域住民と協働しながら、地域の課題解決に向けて主体的に取り組む学生たちを支援する教育プログラム「立志社中」も開始しています。さらにこのたび平成 27 (2015) 年度に、共通教養教育科目のカリキュラム変更を行い、地域が実際に直面している諸問題の現状と要因およびその克服に向けた様々な取り組みについて学ぶ「地域学概論」や、ここでの学びを基礎に、実際に地域での体験活動、調査活動などを行うことで、地域課題に取り組むことが市民として生きていく上でどのような意味や意義をもつのかを考える「地域学実習Ⅰ」「地域学実習Ⅱ」を全学の必修科目としました。健康栄養学部は、『人間や健康、環境の本質を理解しながら、生命の基源である「食」を探究し、人々が健康に生活できるよう幅広い分野で貢献できる人材を養成すること』を、その理念としていますが、専門教育だけではなく、これら「地域学」の講義・実習を端緒として、学生が地域の課題解決に向けて行動できる環境を整えることが、それぞれの地域社会を担う人材の育成につながると考えております。

健康栄養学部「学部報」は、毎年、健康栄養学部の取り組みを広く知っていただくための刊行物として発行してきました。健康栄養学部には、以上のような教育だけではなく、研究においても、地域の生活と密着に関わった課題に取り組んでいる教員も多く存在します。本学部報でこれらの一端をご覧いただければと考えております。

## 健康栄養学部の教育理念・目的

### (理念)

第1条 高知県立大学健康栄養学部は、高知県立大学学則第1条に定める目的を達成するため、以下の理念のもとに設置する。

人間や健康、環境の本質を理解しながら、生命の基源である「食」を探求し、人々が健康に生活できるよう幅広い分野で貢献できる人材を養成する。

### (目的)

第2条 高知県立大学健康栄養学部は、第1条の理念のもと、以下の各号の目的を達成するために、教育研究を行う。

1. 人間や健康、環境の本質を理解する能力の養成  
ヒトの健康を規定する人間や環境の本質を理解する能力を養成する。
2. 専門的知識・技術、科学的思考力の養成  
健康の保持増進、傷病の回復、予防のために必要な専門的知識と実践的知識・技術を養成し、それらを通じて科学的思考力を養う。
3. 社会の変化を予測し、異業種と協働して問題を解決する能力の養成  
変化する社会にあって、要求される事柄を察知し、管理栄養士として他の保健医療職者と連携を取りながら、積極的に問題を解決することのできる能力を養う。
4. 豊かな人間性を培う  
自らの専門性にたちながら主体的に広く教養を身につけ、社会構成員としての求められる公共性や倫理観を養い、共生社会の実現に必要な真に豊かな人間性を培う。
5. 地域に貢献できる能力の養成  
地域の特性を生かした教育・研究を通じ、地域社会の健康の保持増進、傷病の回復、予防のために貢献できる能力を養成する。

# 目 次

「学部報」第6号発刊にあたって	i
健康栄養学部の教育理念・目的	ii

## I. 学部の記録

1. 2015年度学生数一覧	3
2. 長期在学・休学・退学の状況	3
3. 健康栄養学部教員一覧	3
4. 授業科目と教員配置	4
5. 外部資金の導入	5
6. 特許取得状況	5
7. 研究成果の公表の状況	6
8. 国内外学会等への参加	8
9. 講習会・公開講座	11
10. 地域・学外の活動	11
11. 国際交流活動	14
12. 国家試験対策委員会	16
13. 学部就職支援	17
14. ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動	22
15. 高知医療センター・高知県立大学包括 的連携協議会 健康栄養連携部会事業	23
16. 災害プロジェクト委員会	24
17. 健康栄養学部リカレント講座	26
18. 委員会一覧	27
19. 入学試験状況の概要 (2016年度)	28
20. 進学説明会・本学訪問・365日オー プンキャンパス状況	28

## II. 学生の記録

1. 学生の都道府県別出身高校数	31
2. 教育における学外施設の利用状況	32
3. 資格所得状況の概要 (2015年度)	33
4. 国家試験の合格者状況 (新卒者)	33
5. 就職状況の概要	33
6. インターンシップの実施状況 (2015年度)	33
7. 学生の海外研修等 (2015年度)	33
8. 2015年度卒業研究題目一覧	34
9. 学生の受賞	35
10. 学生の課外活動・イベントで特徴的 な事項の一覧	36

## III. 教員の教育・研究・地域貢献活動

1. 和田 安彦	39
2. 村上 尚	41
3. 渡邊 浩幸	42
4. 荒牧 礼子	44
5. 鈴木 麻希子	46
6. 西岡 道子	48
7. 島田 郁子	49
8. 廣内 智子	51
9. 田中 守	52
10. 沼田 聡	55
11. 水島 直子	57
12. 彼末 富貴	58
13. 川村 真美	59
14. 逸見 幾代	60



# I. 学部の記録

1. 2015 年度学生数一覧
2. 長期在学・休学・退学の状況
3. 健康栄養学部教員一覧
4. 授業科目と教員配置
5. 外部資金の導入
6. 特許取得状況
7. 研究成果の公表の状況
8. 国内外学会等への参加
9. 講習会・公開講座
10. 地域・学外の活動
11. 国際交流活動
12. 国家試験対策委員会
13. 学部就職支援
14. ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動
15. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会 健康栄養連携部会事業
16. 災害プロジェクト委員会
17. 健康栄養学部リカレント講座
18. 委員会一覧
19. 入学試験状況の概要 (2016 年度)
20. 進学説明会・本学訪問・365 日オープンキャンパス状況



### 1. 2015 年度学生数一覧

( ) 内：男子

在学学生数						科目等履修生
1 回生	2 回生	3 回生	4 回生	5 回生～	合計	
43 (4)	41 (1)	41 (3)	40 (3)	0	165 (8)	0

### 2. 長期在学・休学・退学の状況 (2015 年度)

年次別休学者数	年次別退学者数	長期履修者数 (5～7 年)
0	1 (1 回生)	0

### 3. 健康栄養学部教員一覧

職 名	氏 名	専門分野 (担当科目)
教 授 (学部長)	和田 安彦	健康生態学・公衆衛生学
教 授 (副学長)	荻沼 一男	植物細胞分類学
教 授	村上 尚	人体の構造と機能
教 授	渡邊 浩幸	食品学
准教授	荒牧 礼子	公衆栄養学
准教授	鈴木 麻希子	栄養学
准教授	西岡 道子	調理学
講 師	島田 郁子	給食経営管理
講 師	廣内 智子	臨床栄養学臨地実習
助 教	田中 守	生化学・栄養学実験
助 教	沼田 聡	給食経営管理実習
助 教	水島 直子	公衆栄養学実習
助 手	彼末 富貴	調理学実習
助 手	川村 真美	食品学実験
特任教授	逸見 幾代	栄養教育論



#### 4. 授業科目と教員配置

科目名	担当者
<b>基礎科目</b>	
健康栄養学基礎	和田安彦, 村上尚, 渡邊浩幸
健康栄養学応用	<u>一色健司</u>
<b>社会・環境と健康</b>	
地域健康論	和田安彦
介護論	和田安彦, (非)森岡美帆
食と介護	和田安彦, (非)森岡美帆
保健医療福祉論	<u>田中きよむ</u>
地域医療論	未開講
公衆衛生学	和田安彦
環境衛生学実習	和田安彦
健康情報論実習	和田安彦
こころと身体活動	(非)網師本真季
<b>人体の構造と機能及び疾病の成り立ち</b>	
生化学Ⅰ	村上尚, 鈴木麻希子 (非)清澤秀孔
生化学Ⅱ	(非)清澤秀孔
生化学実験	(非)富永麻理
人体の構造と機能Ⅰ	村上尚
人体の構造と機能Ⅱ	村上尚
臨床医科学	村上尚
疾病論Ⅰ	村上尚
疾病論Ⅱ	村上尚
運動生理学	(非)片山訓博
生体科学実験・実習	村上尚
<b>食べ物と健康</b>	
食品学	渡邊浩幸
食品学実験	渡邊浩幸
食材学	渡邊浩幸
食品の栄養素と機能	渡邊浩幸
食品衛生学	渡邊浩幸
食品衛生学実験	渡邊浩幸
フードシステム学	(非)中西三紀
調理学	西岡道子
調理学実習Ⅰ	西岡道子
調理学実習Ⅱ	西岡道子
調理学実習Ⅲ	西岡道子
調理科学実験	西岡道子
<b>基礎栄養学</b>	
基礎栄養学	鈴木麻希子
基礎栄養学実験	鈴木麻希子
<b>応用栄養学</b>	
応用栄養学Ⅰ	鈴木麻希子
応用栄養学Ⅱ	鈴木麻希子
応用栄養学実習	鈴木麻希子
ライフステージ 栄養学	鈴木麻希子
<b>栄養教育論</b>	
栄養教育論Ⅰ	逸見幾代
栄養教育論Ⅱ	逸見幾代
栄養教育論Ⅲ	逸見幾代

科目名	担当者
栄養教育論実習Ⅰ	逸見幾代
栄養教育論実習Ⅱ	逸見幾代
学校栄養指導論Ⅰ	逸見幾代
学校栄養指導論Ⅱ	逸見幾代
<b>臨床栄養学</b>	
臨床栄養学Ⅰ	(非)中屋豊, (非)富岡加代子
臨床栄養学Ⅱ	(非)中屋豊
臨床栄養学Ⅲ	(非)中屋豊
臨床実践栄養学	(非)中屋豊, 廣内智子
臨床栄養学実習Ⅰ	(非)橋村夏世, 廣内智子
臨床栄養学実習Ⅱ	廣内智子
<b>公衆栄養学</b>	
公衆栄養学Ⅰ	荒牧礼子
公衆栄養学Ⅱ	荒牧礼子
地域公衆栄養学実習	荒牧礼子
<b>給食経営管理論</b>	
給食経営管理論	島田郁子
給食計画論	島田郁子
給食経営管理実習Ⅰ	島田郁子
給食経営管理実習Ⅱ	島田郁子
<b>総合演習</b>	
管理栄養士総合演習Ⅰ	荒牧礼子, 廣内智子, 島田郁子
管理栄養士総合演習Ⅱ	全教員
<b>臨地実習</b>	
給食経営管理臨地実習	島田郁子
臨床栄養学臨地実習Ⅰ	廣内智子
臨床栄養学臨地実習Ⅱ	廣内智子
地域公衆栄養学臨地実習	荒牧礼子
地域実践栄養学臨地実習	荒牧礼子, 廣内智子, 島田郁子
<b>関連科目</b>	
生活経営学(生活経済学を含む)	井本正人
家族関係論	池添志乃
保育学(実習及び家庭看護を含む)	(非)川崎育郎, 佐東美緒, 高谷恭子
衣生活学	(非)川口順子
服飾造形実習Ⅰ	(非)川口順子
服飾造形実習Ⅱ	(非)川口順子
住居学(製図を含む)	宇野浩三
家庭機械・家庭電気	(非)宮田剛
<b>その他</b>	
企業実習	学年担当教員
<b>課題研究</b>	
卒業研究	各専任教員

他学部教員・下線 非常勤・(非)

## 5. 外部資金の導入

助成機関名	研究課題名	研究代表者	共同研究者	年度	助成額
2014 年度学術研究助成基金助成金（基盤研究(B)） 課題番号：26281063	アグリフォレストリーのための森林・有用植物資源の賦存量の評価・予測モデルの構築	高木万隆	渡邊高志, 菊池豊, 田中守	2014～ 2016	総額 11,830 千円
2015 年度学術研究助成基金助成金基盤研究(A)	レアー・プランツのイベントリーと補完食品素材開拓のための活性評価の再構築	渡邊高志	高木方隆, 守川耕平, 渡邊浩幸, 菅沼成文, 田中伸幸, 菊池豊	2015	1,000 千円
2015 年度学術研究助成基金助成金（若手研究(B)） 課題番号：15K16237	卵白アレルギーに対する迅速な超高感度酵素免疫測定法の開発	沼田聡		2015～ 2016	総額 3,900 千円
2015 年度学術研究助成基金助成金（基盤研究(C)） 課題番号：15K00833	新規卵白アレルギー L-PGDS の高感度定量法の開発と低アレルギー化	鈴木麻希子	沼田聡, 田中守	2015～ 2017	総額 4,680 千円
厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）	追跡終了後コホート研究を用いた共通化データベース基盤整備とその活用に関する研究（平成 27 年度）	玉腰暁子	和田安彦他		
平成 27 年度高知県地域研究成果事業化支援事業	飲酒による脳萎縮を軽減する健脳飲料の研究開発	上田正人	朴啓彰, 渡邊浩幸, 岡本佳乃	2015	総額 4,384 千円
公益財団法人 日本食品化学研究振興財団 平成 27 年度 研究助成	加工食品添加無機リンの定量法の開発 ～リン摂取量と血中動態との関係解明に向けて～	鈴木麻希子		2015	総額 900 千円
平成 27 年度 高知県立大学「科研費」獲得支援助成事業	老衰死に至る要因とそれを受容する死生観の地域差	和田安彦		2015	400 千円
平成 27 年度 高知県立大学「科研費」獲得支援助成事業	飲酒による脳萎縮を軽減する健脳飲料の研究開発	渡邊浩幸		2015	400 千円
平成 27 年度 高知県立大学「科研費」獲得支援助成事業	国際理解につなげる多民族国家との幸福度比較	島田郁子		2015	400 千円
平成 27 年度 高知県立大学「科研費」獲得支援助成事業	迅速で簡便な抗アレルギー活性評価系の構築	田中守		2015	400 千円

## 6. 特許所得状況

『大腸がん抑制に関する研究』

発明の名称：抗悪性腫瘍組成物

特許出願番号：特願 2016-043300

発明者：酒井智文，相部かおり，太田慶彦，渡邊浩幸，川村真美，小築康弘

特許出願人：株式会社ファンケル

提出日：平成 28 年 3 月 7 日

## 7. 研究成果の公表の状況

### (1) 学術論文

著者	タイトル	雑誌名 (発行所)	号巻 ページ	発行 年
K. Yoshinaga, K. Sasaki, H. Watanabe, K. Nagao, Nao I. Bungo Shirouchi, T. Yanagita, T. Nagai, H. Mizobe, K. Kojima, F. Beppu, N. Gotoh	Differential effects of triacylglycerol positional isomers containing n-3 series highly unsaturated fatty acids on lipid metabolism in C57BL/6J mice.	<i>J. Nutr. Biochem</i>	26(1), 57-63	2015
F. Beppu, K. Konno, T. Kawamatsu, T. N agai, K. Yoshinaga, H. Mizobe, K. Kojima, H. Watanabe, an d N. Gotoh	Comparison on the catabolism rate of 13C labeled palmitic acid binding at between alpha and beta position of triacylglycerol using expired gas from mouse.	<i>J. Lipid Sci. Technol</i>	117(5), 718-723	2015
Yoshiteru Akezaki, Yoshiaki Mori, Takuo Nomura, Koji Nagino, Reiko Aramaki, Eiji Nakata	The value of weight-bearing rate on the paretic lower limb for an independent walking without a cane in patients with stroke.	JAWS	6(2), 36-42	2015
NR. Ngatu, M. Ikeda, S. Kanbara, M. Inoue, M. Suzuki, H. Watanabe, M. Umebara, S. Nojima	Potential health effects of green river Algae (Aonori) of the LPP Complex, with a reference to <i>Ulva prolifera</i> .	Internatio nal Academy of Science, Engineerin g and Technology	4(6), 1-8	2015
Ikehara S1, Iso H, Wada Y, Tanabe N, Watanabe Y, Kikuchi S, Tamakoshi A; JACC Study Group.	Television Viewing Time and Mortality From Stroke and Coronary Artery Disease Among Japanese Men and Women - The Japan Collaborative Cohort Study.	<i>Circ J.</i>	79: 2389-95	2015
Satoshi Numata, Hideki Katakami, Shinobu Inoue, Hirotake Sawada, Seiichi Hashida	Development of a novel ultra-sensitive enzyme immunoassay for human GAD65 antibody	<i>Ann Clin Biochem</i>	Epub ahead of print	2016
Yoshinobu Yoshimoto, Yukituna Ooyama, Mamoru Tanaka, Asuka Sakamoto	One-leg standing time of the affected side moderately predicts for post-discharge falls in community stroke patients	Journal of Stroke and Cerebrovas cular Diseases.	S1052-3 057(16) 00185-3	2016
荒牧礼子, 都島基夫, 北村章	若年成人女性における脂肪エネルギー過剰状態の原因推定	日本未病シ ステム学会 雑誌	21(2), 19-27	2015
田中守, 香西はな, 岡本威明	動物モデル系を用いた小麦依存性 運動誘発アナフィラキシーの評価	アレルギー の臨床	35, 68-73	2015
田頭歩佳, 加藤匡宏, 山内加奈 子, 田中守, 岡本威明	ヒト好酸球性白血病由来細胞株 EoL-3を用いた健康食品の安全性 評価系の確立	四国公衆衛 生学会雑誌	61, 125- 132	2016

## (2) 著書

著者	タイトル	ページ	出版社	発行年
和田安彦, 小泉昭夫 (塩谷隆信 編)	第2章 疫学 遺伝疫学, 遺伝性出血性末梢血管拡張症(オスラー 病;HHT)の診療マニュアル 増補版	11-17	中外医学社	2015
渡邊浩幸	食品学総論 (辻英明ら編)	131-139	講談社サイエ ンティフィク	2015
渡邊浩幸	食品学各論 (辻英明ら編)	64-79	講談社サイエ ンティフィク	2015
本田佳子編 逸見幾代他	Trainee Guide栄養食事療法の実習 栄養ケアマネジメント 第11版		医歯薬出版	2016
逸見幾代, 佐藤香苗 編著	改訂 マスター栄養教育論 第1章 栄養教育の概念		建帛社	2016
市丸雄平, 岡純編 逸見幾代他	三訂マスター応用栄養学「第1章栄養マ ネジメント(栄養管理)」第8章 学童期		建帛社	2015
逸見幾代, 津田とみ 編	三訂臨床栄養学実習-栄養補給マネジメ ント実務-第1章臨床栄養学実習と医療 機関における栄養管理第5章栄養補給マ ネジメント3-2エネルギーコントロール 食		建帛社	2016

## (3) その他、報告書等

氏名	タイトル	ページ	名称・機関・発行所	発行年
島田郁子	給食経営管理実習における災害食考案 サバイバルメシコンテスト		おいしさの科学ニュー ス, おいしさの科学研 究所	2016
田中守	牛乳由来ペプチドはアレルギー症状及び 発症を抑制できるのか		科学研究費助成事業 研究成果報告書	2015
島田郁子, 荒牧礼子, 田中守	マレーシア国立サバ大学との国際交流と 今後の課題	10-13	ふまにすむす27号	2016
渡邊浩幸, 彼末富貴	県民大学から伝えたいこと「高知の魚を たべよう！」魚消費拡大のために	3-14, 付録 1-2.	高知県立大学地域研 究センター産官学研 究部 会	2016
松崎淳子, 彼末富貴	平成28年度版ファミリー日誌	72-73, 261	全国農林統計協会連 合 会	2015
松崎淳子, 彼末富貴	うまいもんレシピ「さば」押しずし	13	玉手Vol.96, (社福)高 知県社会福祉協議 会	2015
島田郁子	PINES (Professionals in nutrition for exercise and sport) 8-1 (分担翻訳)	6	NPO 法人日本スポーツ栄 養学会会員 HP	
島田郁子	PINES (Professionals in nutrition for exercise and sport) (分担翻訳)	6-7	NPO 法人日本スポーツ栄 養学会会員	
島田郁子	発行ファクトシート Dairy and Sports Performance (分担翻訳)		オーストラリアスポ ーツ栄養士会	
和田安彦	在宅死もしくは老衰死(自然死)の割合 の地域差と医療体制や死生観との関連,	1-2	平成26年度高知県立 大学「科研費」獲得支 援助成事業実績報告 書	2015
荒牧礼子	高知県立大学創基70周年記念事業特別 公開講座「冬の季節の老化予防」	14-17	平成27年度高知県立 大学健康長寿センタ ー活動報告書	2015
荒牧礼子	高知医療センター・高知県立大学包括連 携協議会連携事業「慢性腎臓病料理教室」	88-92	平成27年度高知県立 大学健康長寿センタ ー活動報告書	2015

## 8. 国内外学会等への参加

### (1) 国際学会発表

発表者	題目	学会名	場所	開催日
Yoshinobu Yoshimoto, Yukituna Ooyama, Mamoru Tanaka	One-leg standing time of the affected side is the most predictive factors for post-discharge falls in community stroke patients	World Confederation for Physical Therapy congress 2015	Singapore	2015. 5. 1~4
Y. Kozuki, Y. Nakajima, Y. Okuhara, Y. Ito, R. Osato-Sasada, T. Sato, H. Watanabe,	Anti-proliferative effects and quantitative structure-activity relationship of phytosterols and other sterols on Colon-26 cells.	ACN2015 12th Asian Congress of Nutrition.	Yokohama, Japan.	2015. 5. 14~18
M. Suzuki, S. Nakanishi, A. Yoshino, R. Morimoto	The mechanism by which egg white allergen, L-PGDS increases serum OVA-IgE level in OVA-sensitized mice	12th Asian Congress of Nutrition	Yokohama, Japan	2015. 5. 14~18
Mamoru Tanaka, Hiroyuki Watanabe, Hana Kozai, Yoshinobu Yoshimoto, Ikuko Shimada, Tomoko Hirouchi, Satoshi Numata, Ayuka Tagashira and Takeaki Okamoto	Degranulation inhibitory activity may depend on peptide binding and peptide sequence	The 12 <sup>th</sup> Asian Congress of Nutrition	Yokohama	2015. 5. 14~18
Ikuko Shimada, Asami Okabe, Ayuka Tagashira, Ichisaku Shinohara, Mamoru Tanaka, Satoshi Numata and Takeaki Okamoto	Which factors determine happiness?	The 12 <sup>th</sup> Asian Congress of Nutrition	Yokohama	2015. 5. 14~18
Chie Tokuhiro, Ikuko Shimada	Methods of evaluating school lunch-based shokuiku initiatives utilizing the local produce.	12th Asian Congress of Nutrition	Yokohama	2015. 5. 16
Ikuko Shimada, Asami Okabe, Ayuka Tagashira, Ichisaku Shinohara, Mamoru Tanaka, Satoshi Numata, Takeaki Okamoto	How is happiness decided? — Report(1) on 12 happiness factors from everyday life environment as indexes—	12th Asian Congress of Nutrition	Yokohama	2015. 5. 17
Reiko Aramaki, Mizuho Nonomura	Commitment to health longevity based on the national strategy on dementia	第6回日中文化フォーラム	昆明	2015. 9. 19~22
Masaki Sasanuma, Hari Prasad Devkota, Mamoru Tanaka, Shuhei Noguchi, Narufumi Saganuma, Takashi Watanabe	An evaluation of useful plant resources in Kochi Prefecture for their TNF- $\alpha$ production and degranulation inhibitory activity	Internationa l Symposium on Chronic Inflammatory Diseases	Kumamoto	2015. 10. 16~ 17
Takeaki Okamoto, Naeko Kuroshita, Ayuka T Tagashira, Mamoru Tanaka, Takuya Sugahara, Satoshi Okano, Sengo Kobayashi	Effect of vitamin E on osteoblast-like MC3T3-E1 cells	6th ICoFF,	Seoul	2015. 11. 22~ 25

## (2) 国内学会発表

発表者	題目	学会名	場所	開催日
渡邊浩幸, 島田郁子, 岡田英, 河野淑子, 荻沼一男	高知県内食品企業への生産管理高度化支援	第13回日本産学連携学会	北見市	2015. 6. 25
田頭歩佳, 山内明, 山内加奈子, 加藤匡宏, 田中守, 岡本威明	ヒト好塩基球の走化性とケモカインレセプター発現に及ぼす不純物 3-pheylamino-L-alanine (PAA) の影響	日本食品科学工学会第62回大会	京都	2015. 8. 27 ~29
水島直子, 荒牧礼子	市販菓子類のPFCバランスと女子高校生の菓子摂取状況に関する検討	第7回日本未病システム学会近畿地方会・第12回日本未病システム学会栄養部会講演会	大阪	2015. 9. 5
田頭歩佳, 山内明, 山内加奈子, 加藤匡宏, 田中守, 岡本威明	ヒト好酸球を用いた健康直品の安全性評価系の確立	第62回日本家政学会中国・四国大会	鳥取	2015. 9. 19 ~20
逸見幾代, 西村栄恵, 嶋田さおり	青年成人期における食事バランスガイドを活用した食育にむけての一考察~5年間の食事内容の時系列分析2	第62回日本栄養改善学会	福岡	2015. 9. 24 ~26
西村栄恵, 逸見幾代, 嶋田さおり, 土海一美	青年成人期にある若年者の食生活調査~食育手法を検討するために~第6報	第62回日本栄養改善学会	福岡	2015. 9. 24 ~26
嶋田さおり, 西村栄恵, 逸見幾代	継続的な食育による保護者の食意識の変化	第62回日本栄養改善学会	福岡	2015. 9. 24 ~26
渡邊浩幸, 川村真美, 田中伸幸	高脂肪食給与マウスにおけるカンナデンプンの抗肥満作用	第36回日本肥満学会	名古屋市	2015. 10. 3
荒牧礼子, 野々村瑞穂	勤労者層における食物摂取状況の解析	第22回日本未病システム学術総会	北海道	2015. 10. 10 ~12
田中守, 渡邊浩幸, 吉本好延, 香西はな, 田頭歩佳, 岡本威明	カゼイン由来ペプチドの抗アレルギー特性評価	第48回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会	広島	2015. 10. 31 ~11. 1
沼田聡, 片上秀喜, 井上忍, 澤田浩武, 橋田誠一	グルタミン酸脱炭酸酵素 (GAD) 抗体に対する高感度酵素免疫測定法の開発	第48回日本栄養食糧学会中国四国支部大会	広島	2015. 11. 1
荒牧礼子, 石川麻衣, 池田光徳, 池添志乃, 田之頭恵里	児童・生徒を対象とした生活習慣病予防健診受診後のこども自身による健康管理の変化	第74回日本公衆衛生学会総会	長崎	2015. 11. 4 ~6
島田郁子, 小松美幸, 大石早紗, 金谷和香, 桑村亜矢子, 柴田彩果, 島本亜弥, 真鍋知花, 沼田聡	高齢者給食サービスにおける食肉軟化剤使用条件の検討	第11回日本給食経営管理学会学術総会	東京	2015. 11. 29
沼田聡, 大石早紗, 金谷和香, 桑村亜矢子, 柴田彩果, 島本亜弥, 真鍋知花, 島田郁子	給食管理実習における災害食教育への挑戦ーサバイバルメシコンテストの試みー	第11回日本給食経営管理学会学術総会	東京	2015. 11. 29
鈴木麻希子, 篠岡沙季, 中川あずさ, 清澤秀孔, 山本沙也加, 横路三有紀	加齢と高脂肪食はマウス大脳皮質におけるSam68複合体構成たんぱく質のアルギニンメチル化率を上昇させる	第38回日本分子生物学会年会 第88回日本生化学会大会 合同大会	神戸	2015. 12. 1 ~4

発表者	題目	学会名	場所	開催日
森本亮祐, 山本沙也加, 津嘉山泉, 山本登志子, 鈴木麻希子, 山下広美, 高橋吉孝, 木本真順美	ヒトのタンパク質アルギニンメチル基転移酵素3 (PRMT3) に対するモノクローナル抗体の作製ならびに免疫学的性質	第38回日本分子生物学会年会 第88回日本生化学会大会 合同大会	神戸	2015.12.1~4
坂本一美, 渡邊絵里香, 楠瀬和佳奈, 佐賀啓子, 十萬敬子, 森本智代, 渡邊慶子, 田中守, 澁谷祐一	腎移植患者の術前術後における体制分変化と栄養指標の検討	第19回日本病態栄養学会年次学術集会	横浜	2016.1.9~10
片上秀喜, 沼田聡, 井上忍, 澤田浩武, 橋田誠一	抗GAD自己抗体(GADAb)に対する新規超高感度測定法(ICT-EIA)の開発と臨床応用	第53回日本糖尿病学会関東甲信越地方会	横浜	2016.1.23
田中守, 渡邊慶子, 小谷小枝, 坂本一美, 吉松香絵, 楠瀬和佳奈, 安田春奈, 吉本好延, 森田荘二郎	管理栄養士記録を用いた食道がん治療と食変化の関連性の評価	第35回食事療法学会	愛知	2016.3.5~6
渡邊慶子, 田中守, 小谷小枝, 坂本一美, 吉松香絵, 楠瀬和佳奈, 安田春奈, 吉本好延, 森田荘二郎	頭頸部、胸部上部食道がん治療と食変化に関する検討	第35回食事療法学会	愛知	2016.3.5~6
十萬敬子, 佐賀啓子, 小谷小枝, 坂本一美, 楠瀬和佳奈, 安田春奈, 渡邊慶子, 田中守, 沼田聡, 菅野尚	2型糖尿病肥満患者における栄養指導の効果について	第35回食事療法学会	愛知	2016.3.5~6
沼田聡, 小松美幸, 大石早紗, 柴田彩果, 金谷和香, 桑村亜矢子, 島本亜弥, 真鍋知花, 北添稔博, 島田郁子	施設における献立作成条件の検討 -喫食率向上を目指して-	第35回食事療法学会	名古屋	2016.3.6

### (3) 国内学会研修会開催

平成27年度日本栄養士会研究教育事業部中国・四国ブロック研修会

日時：平成28年3月27日(日)

場所：高知県立大学永国寺キャンパス

運営委員長：島田郁子

研修内容：①基調講演 「大規模自然災害に備える」

愛媛大学防災情報研究センター所長 矢田部龍一

②シンポジウム 「災害時の栄養管理の重要性について」

高知県立大学健康栄養学部講師 廣内智子

「自助の進め！身近な食品を災害食に」

愛媛大学農学部講師 垣原登志子氏

「ボランティアリーダーの立場から」

高知県立大学地域教育センター課長 山崎水紀夫

「地域とともに防災に取り組む学生サークル活動」

高知県立大学災害ボランティアサークルイケあい

## 9. 講習会・公開講座

タイトル	講師	主催	開催日	場所	対象
生産管理高度化研修特別講座 「大量調理における衛生管理」	島田郁子, 沼田聡	高知県立大学 地域教育センター	2015. 10. 19	高知県立 大学	高知県内 企業
生産管理高度化研修特別講座 「理化学・微生物の基礎」	渡邊浩幸	高知県立大学	2015. 11. 24	高知県立 大学	高知県内 企業
食の健康・リスク情報への向き合い方 — 「安心」ではなく「安全」を 講演およびシンポジウム	岩田健太郎 (神戸大学教授) シンポジウム 岩田健太郎, 一色健司, 和田安彦	高知県立大学 健康栄養学 部・高知県立 大学健康長寿 センター	2015. 12. 5	高知県立 大学 永 国寺キャン パス	一般県民, 学生, 教職 員, 保険医 療福祉関 係者, 行政 関係者
生産管理高度化研修特別講座 「アレルギー」	田中守	高知県立大学 地域教育セン ター	2016. 3. 10	高知県立 大学	高知県内 企業

## 10. 地域・学外の活動

### (1) 講師活動

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
Let's make the tofu	沼田聡	高知県立大学	2015. 6. 1	高知県立 大学	エルムズ 大学留学 生
高知県栄養士会生涯学習基本 研修 栄養管理プロセス	島田郁子, 沼 田聡	高知県栄養士 会	2015. 6. 6	高知県立 大学	栄養士, 管理栄養 士等
土佐清水市介護予防講演会 「介護予防のためのイキイキ 食生活」	荒牧礼子	土佐清水市	2015. 6. 18	土佐清水 市 足摺 岬区長	一般
高知市内中学生と朝食づくり 献立・調理指導「朝食の重要 性のミニ講義」	逸見幾代		2015. 7.		高知市内 中学生
高知県水産物 PR キャンペー ン「親子おさかな料理教室」	彼末富貴	高知県	2015. 8. 1, 9. 5, 11. 7, 12. 5, 2016. 2. 6	高知市中 央卸売市 場	親子
平成 27 年度家庭科教員免許 状更新講習	鈴木麻希子, 和田安彦, 川口順子, 宇野浩三	高知県教育委 員会	2015. 8. 19	高知県立 大学池キ ャンパス	中・高校家 庭科教諭
香美市介護予防講演会「介護 予防のためのイキイキ食生 活」	荒牧礼子	香美市社会福 祉協議会	2015. 8. 20	香美市プ ラザ八王 子	一般
高知県栄養士会生涯教育実務 研修会「食育と地域貢献」	彼末富貴	高知県栄養士 会	2015. 8. 30	こうち男 女共同参 画ソーレ センター	栄養士会 会員
本山町公開講座「介護予防イ キイキ食生活」	荒牧礼子	本山町	2015. 9. 10	本山町プ ラチナセ ンター	一般
平成 27 年度高知短期大学と の連携講座「消費生活講座」 食と安全～受身の「安心」か ら根拠に基づく判断へ～	和田安彦	高知県立消費 生活センター	2015. 9. 13	高知県立 大学教育 研究棟	



タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
慢性腎臓病患者の食事療法と在宅移行への食事支援	水島直子	公益社団法人 高知県看護協会	2015.9.14	高知県看護協会	看護師
第12回西日本児童養護施設職員セミナー「歴史から学ぶ食育と衛生の基本的考え方」	和田安彦		2015.9.17	高知会館	西日本児童養護施設職員
家庭的保育の研修講義	鈴木麻希子	高知県教育委員会	2015.9.21, 27	高知県立大学池キャンパス	家庭的保育者(認可外保育施設の他,保育所,幼稚園に勤務する者を含む)
土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業	西岡道子	土佐フードビジネスクリエーター人材創出(土佐 FBC II)	2015.9.25	高知大学	一般
(公社)香川県栄養士会学校健康教育部 危機管理研修会「災害時の現実とその時求められるもの」	島田郁子	香川県栄養士会	2015.9.26	高松市立香西小学校	栄養教諭, 学校栄養職員
研究内容紹介	鈴木麻希子, 田中守, 沼田聡	日本・アジア史少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)	2015.9.30	高知県立大学	中国・安徽省の学生
生産管理高度化研修特別講座「大量調理における衛生管理」	島田郁子		2015.10.19		
高知市市民講座 聞く・知る・学ぶ!こうちの特産、再発見「生産量日本一の県民の知りたい生姜のこと」	渡邊浩幸	高知市	2015.11.11	高知市文化プラザ かるぼーと	高知市民
栄養アセスメントと食事の工夫	水島直子	高知県立大学健康長寿センター	2015.11.24	高知県立大学	看護師
生涯学習公開講座	島田郁子	高知県立丸の内高等学校	2015.12.7	高知県立丸の内高等学校	同高校生
こうち難病相談支援センター医療学習会・交流会「噛むこと・飲み込みづらさへの対応」	島田郁子	こうち難病相談支援センター	2016.1.21	高知市文化プラザ かるぼーと	一般
ソーレまつり 2016 親子でご飯づくり 一巻きずしを作って、皿鉢に盛ってみよう!ー	彼末富貴	ポレール	2016.1.24	こうち男女共同参画ソーレセンター	親子
健康長寿センター70周年記念事業特別公開講座「冬の季節の老化予防」	荒牧礼子	高知県立大学健康長寿センター	2016.2.16	香南市野市中央公民館	一般
土佐山内家宝物資料館職員の高知の食材を使った実習「土佐の食卓より」	彼末富貴, 土佐伝統食研究会会員	土佐山内家宝物資料館	2016.2.19	高知市文化プラザ かるぼーと	土佐山内家宝物資料館職員

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
機能性成分～抗アレルギー食品の開発を目指した素材探索～	田中守	産学官民連系センター	2016. 2. 24	産学官民連系センター	大学関係者, 地域の方々
マレーシアサバ大学食品科学・栄養学部「My research subject.」	沼田聡	マレーシアサバ大学食品科学・栄養学部	2016. 3. 11	マレーシアサバ大学	サバ大学教員, 学生
南国市健康づくり講演会「バランスカードで遊びながら食生活改善のヒント」	荒牧礼子	南国市役所	2016. 3. 15	南国市保健センター	一般

## (2) 高大連携・地域との共同事業

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所
とさっ子健診	荒牧礼子	高知県立大学健康長寿センター	2015. 8. 23 ～24	土佐市保健センター
高知家の新名物料理アイデアコンテスト	鈴木麻希子	こうち旅広場運営本部	2015. 8. 28, 9. 19	グランディール高知駅前店, こうち旅広場
出前授業「高知県立大学健康栄養学部」	鈴木麻希子	高知小津高校	2015. 9. 3	高知小津高校
出前授業「健康栄養学」	荒牧礼子	土佐女子高等学校	2015. 10. 7	土佐女子高等学校
高知家ハッピーフェスティバル	沼田聡, 島田郁子	高知県・高知県少子化対策推進県民会議	2015. 11. 3	高知県立青少年センター
とさっ子健診	荒牧礼子	高知県立大学健康長寿センター	2015. 12. 7	土佐市保健センター
高知医療センター・高知県立大学包括連携協議会連携事業 第4回「慢性腎疾患(CKD) 料理教室」	荒牧礼子, 和田安彦, 渡邊浩幸	高知医療センター・高知県立大学包括連携協議会	2015. 12. 22	高知県立大学
高知県立大学創基70周年記念事業特別公開講座高知県立大学健康長寿センター体験型セミナー「冬の季節の老化予防ー寒い季節の皮膚のトラブル対処を考えましょうー」	水島直子	高知県立大学健康長寿センター	2016. 2. 16	香南市立野市中央公民館
学生が語る「地域に関わる」ということ	沼田聡	高知大学	2016. 2. 20	高知会館

## 11. 国際交流活動

### 1. 委員会活動

荒牧礼子

#### 1) 池ディ

高知県立大学永国寺キャンパスで学んでいる留学生を対象に、池キャンパスでの授業を体験してもらう企画「池ディ」が平成27年度も行われました。健康栄養学部はエルムズ大学の短期留学生を対象に6月1日（月）、渡邊先生の「日本の食について」の講義と沼田先生の「豆腐作り」の実習授業が開講されました。本学部4回生も参加し学生同士の交流もできました。

#### 2) マレーシア国立サバ大学との交換留学について

【受入】 マレーシア国立サバ大学から短期留学生1名を受け入れ

期 間：2015年7月6日（月）～31日（金）

研修内容：「人体の構造と機能」や「給食経営管理実習」など学部専門科目（1～3回生対象）の受講と、高知医療センターや乳児施設での実習を行いました。

また、日本語によるプレゼンテーション（7月13日）や報告会（7月30日）を実施しました。積極的に学ぶ姿勢に、在學生は刺激を受けたようです。

【派遣】 マレーシア国立サバ大学へ2回生3名、引率教員2名（3月3日～9日：1人、3月7日～14日1人）を派遣

期 間：2016年3月3日（木）～14日（火）

日（曜日）	研 修 内 容
4（金）	サバ大学学内見学、州立博物館見学、副学長挨拶
7（月）	食品微生物学、テーブルマナー、食品微生物学実験
8（火）	食習慣と栄養教育、大量調理実習、食物の官能検査実験
9（水）	ライフステージ栄養学、マフィンづくり、食品加工・保存実験
10（木）	食事療法、工場訪問見学
11（金）	給食システム学受講、学生、教員によるプレゼンテーション

報告会：2016年4月6日（水）11：00～ 新2回生、新3回生を対象にA306にて実施。



食品微生物学実験



インフォーマルディナーさよなら交流会



学生・教員によるプレゼンテーションを終えて

## 2. さくらサイエンス中国安徽省三大学の本学訪問

村上尚

9月27日(日)から10月3日(土)、(公財)高知県国際交流協会が受入機関となり、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が実施する「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)」を活用して、高知県と友好提携している中国安徽省内の大学生を招聘し、高知県内の高等教育機関との交流活動及び県内企業の見学等が行われました。

本学には、9月30日(水)中国安徽省の3大学(安徽大学、安徽中医薬大学、安徽中澳科技職業学院)から学生13名及び引率教員3名の計16名が永国寺と池の両キャンパスに訪問しました。

健康栄養学部では、学部ならびに教員の紹介、施設見学、学部生の考えた高知の食材を使った焼き菓子の試食の後、研究発表を行い意見交換を行いました。

研究発表タイトル

- ・鈴木麻希子：The mechanism by which egg white allergen L-PGDS increases serum OVA-IgE level in OVA-sensitized mice
- ・沼田聡：Development of a novel sensitive enzyme immunoassay for human GAD antibody
- ・田中守：Research of Hidden Natural Resources Containing Functional Food Ingredients in Kochi - Industry-Academic-Government Project -

## 12. 国家試験対策委員会

荒牧礼子，廣内智子，田中守

### 1. 主な活動内容

管理栄養士の資格取得をサポートすることを目的として、平成 27 年度は 3 回生および 4 回生を対象に、全国統一模擬試験を年間 7 回実施した。3 回生は苦手分野の把握を目的として、4 回生は苦手分野の克服と合格得点獲得を目指し外部講師による国家試験対策講座を実施した。

さらに 1 月には、昨年度の教科担当教員に加え学部教員による学内国家試験対策講座を開講し、基礎的内容から国家試験過去問題の解説に至るまで指導にあたった。成績が伸び悩む学生については個別に面談を行い、勉強法に関するアドバイスを行った。また、管理栄養士国家試験受験のための説明会を開催した。

### 2. 管理国家試験対策（平成 27 年度 国家試験模擬試験実施一覧）

実施日	内容	受験者数（名）	
		3 回生	4 回生
6 月 27 日（土）	全国統一模擬試験（第 1 回 RDC）	41	31
7 月 25 日（土）	全国統一模擬試験（第 1 回日本医歯薬）	0	28
9 月 26 日（土）	全国統一模擬試験（第 2 回日本医歯薬）	0	38
11 月 7 日（土）	全国統一模擬試験（第 2 回 RDC）	41	36
11 月 28 日（土）	全国統一模擬試験（第 3 回日本医歯薬）	0	29
1 月 9 日（土）	全国統一模擬試験（第 3 回 RDC）	41	38
1 月 23 日（土）	全国統一模擬試験（第 4 回日本医歯薬）	0	31

### 3. 国家試験対策講座（外部講師による）

日 時：平成 27 年 11 月 29 日（日） 10：00～16：00

会 場：健康栄養学部 共用棟 大講義室

参加者数：学部生（1 回生）2 名  
（3 回生）39 名，  
（4 回生）22 名

一般 10 名

### 4. 第 30 回管理栄養士国家試験

実施日：平成 28 年 3 月 20 日（日）

合格発表日：平成 28 年 5 月 10 日（火）14 時

受験者数：39 名

合格者数：31 名（79.5%）

## 13. 学部就職支援

川村真美, 渡邊浩幸

### 1. 活動内容

#### 1) 全学的取り組み

本学では、池・永国寺両キャンパスのキャリアセンターに就職相談員が配置され、教員と共に就職に関する指導と支援をしている。キャリアセンター(愛称: ワクワク Work!!)の相談員は、年次を問わず、就職に関する様々な質問や相談に応じている。就職活動に関する個別相談、企業への提出書類のチェックや模擬面接の実施等、安心して就職活動に取り組めるよう、一人ひとりの学生への徹底した指導・サポートを行っている。また、ワクワク Work!!では、知りたい情報がいつでも自由に閲覧できるよう、病院、施設、企業関連の資料や公務員の募集要項、就職関連図書などを豊富に揃えている。さらに、求人実績のある企業や医療・福祉関係を中心に、先輩の有無・就職試験の傾向と対策などの情報を入手できる。またほぼ全員の卒業生が残した詳細な就職活動の記録である就職活動報告書があり、後輩学生の参考になっている。またワクワク Work!!主催の就職必勝講座やSPI 模擬試験など就職活動活性化のためのガイダンスやセミナーが平成 27 年度は 85 回実施された。平成 27 年度は池キャンパスワクワク Work!!は模様替えを行い、学生が話にしやすい雰囲気づくりの工夫を行った。本学学生を取りたい企業からの大学への訪問希望の対応などをし、学生からのニーズが多い場合には学内説明会を実施した。また、新たにワクワク Work!!職員を対象とした研修が実施された。キャリアアドバイザーによる相談業務にあたるワクワク Work!!職員の対応能力の向上を目的とした研修で計 13 日行われ、職員の資質向上が図られた。

平成 26 年度に引き続き、ハローワーク高知の“大卒就職ジョブサポーター” 1 名が週 1 回水曜日に、利用者の多い 6～9 月には週 2 回月曜日・水曜日に、池キャンパスのキャリアセンターに来て、学生の個別相談を受ける体制であり、就職活動の支援が強化された。また、大卒ジョブサポーターによって高知県のみでなく全国の採用情報が効率的に多く提供されるようになり、就職活動の活性化に繋がっている。

また平成 26 年度に引き続き、キャリアセンターによる健康栄養学部 3 回生に的を絞った就職ガイダンスが実施され、学部の適性に合った丁寧な就職ガイダンスが行われた。ワクワク Work!!職員と 3・4 回生学年担当教員は、年度初めに担当学年の学生の就活についての情報や学生の希望や適性・近況などについて情報交換の話をもち、情報の共有に努めた。

#### 2) 学部の取り組み

平成 20(2008)年度より学部独自に 2 名の就職担当教員を配置している。就職担当教員は学部主催の就職セミナーを企画・立案・実施した。また、学年担当教員・卒業研究指導教員・キャリア支援部会員と連携して就職を支援した。教員間で密に連絡を取り、就職活動の活性化を促し、個別に提出書類の添削・指導を行い、求人情報の提供などの支援を行った。またワクワク Work!!主催の就職ガイダンスやセミナーへの積極的な参加を促した。本学部学生はワクワク Work!!主催の就職ガイダンスのうち 29 講座に延べ 684 名が参加した。以下にワクワク Work!!および学部が主催した就職支援企画への本学部学生の参加実績を示す。

平成 27 年度 ワクワク work!!主催および学部主催就職ガイダンス参加状況

年月日	キャンパス	タイトル	対象	健康 栄養
15/4/3	池	オリエンテーション	3 回生	27
			4 回生	26
15/4/15	永国寺	高知銀行 個別説明会	4 回生	2
15/4/27	永国寺	高知県警察 個別説明会	4 回生	1
15/5/1	池	健康栄養学部 面接・小論文対策ガイダンス	4 回生	31
15/5/9	池	公務員ガイダンス	全学年	6
15/5/11	池	岡山県教員採用試験説明会	4 回生	2
15/5/20	池	香川県教員採用試験説明会	4 回生	1
15/5/30	永国寺	教員ガイダンス	4 回生	4
15/4/21	池	エゴグラム実施&解説セミナー	3 回生	9
15/6/22	池	健康栄養学部 3 回生対象 就職ガイダンス	3 回生	29
15/6/29	池	リクルートファッション&メイク講習会	2~4 回生	25
15/7/13	池	ハローワーク出張登録会 in 池	4 回生	9
15/7/14	池	シダックス会社説明会	4 回生	12
15/8/7	永国寺	ベル薬局グループ会社説明会	4 回生	2
15/10/10	池	平成 26 年度第 1 回 健康栄養学部就職セミナー ~卒業生を迎えて~	1 回生	35
			2 回生	34
			3 回生	37
			4 回生	1
15/10/19	池	業界・企業研究の仕方	2~3 回生	35
15/11/9	池	SPI 模擬試験 (マークシート版)	全学年	39
15/11/30	池	就業前ワンポイント講座~知っておきたい労働 基準法~ (健栄)	3・4 回生	18
15/12/14	池	エントリーシート (履歴書) の書き方講座	3 回生	34
15/12/19~20	永国寺	就職必勝・実践 WIN 講座 in 永国寺	3 回生	17
16/1/18	池	平成 26 年度第 2 回 健康栄養学部就職セミナー ~健栄 教えて!先輩~	1 回生	41
			2 回生	39
			3 回生	38
			4 回生	6
16/1/23~24	池	就職必勝・実践 WIN 講座 in 永国寺	3 回生	40
16/1/25	池	(株)サニーマート 業務セミナー	1~3 回生	11
16/1/30	永国寺	学内合同業界企業セミナー	3 回生	4
16/1/31	永国寺	3 大学合同就職セミナー2016	3 回生	10
16/2/1	池	実践☆履歴書ガイダンス(社福・健栄)	3 回生	32
16/2/7	高知市内	公務員試験模擬試験	全学年	12
16/2/22	池	教員採用試験公開模試	1~3 回生	8
16/3/1	大阪	合同説明会バスツアー	3 回生	7

【学部主催就職セミナー】

健康栄養学部では、学部主催の就職セミナーを平成 20 年度より開催しており、平成 27 年度は 2 回開催した。学部学生を対象として社会で活躍中の卒業生 6 名を講師に招いて 10 月に、内定が決まった 4 回生 6 名を講師に 1 月に実施した。毎回各講師から全体に体験談を話してもらったのち、職種ごとに教室に分かれ、在学生からの質問に答えてもらう小グループでの個別質問タイムを設けて、学生が聞きたいことを質問しやすいように企画し開催した。2 回とも学部 1~3 回生 80% 以上が参加し、参加率は非常に高かった。参加感想アンケート結果をみると、就職活動の活性化

になり、就活への不安を軽減するだけでなく、日々の授業での勉学の重要性の認識や国家試験勉強の動機付けにも繋がり、よい効果を与えていることが窺えた。下記にその詳細を示す。

### ●平成 27 年度第 1 回健康栄養学部就職セミナー ～卒業生を迎えて～

2015 年 10 月 10 日(土)9:00~12:30

講師：本学部卒業生 5 名

溝渕智美さん(平成 26 年度卒、高知市 近森病院 管理栄養士)

猪口菜摘さん(平成 26 年度卒、香川県 シダックスフードサービス  
株式会社 県立丸亀病院支店 管理栄養士)

栗本早織さん(平成 22 年度卒、京都市 社会福祉法人稲荷保育園 管  
理栄養士)

谷 麻美さん(平成 22 年度卒、愛知県西尾市立平坂中学校 栄養教諭)

黒木槇子さん(平成 22 年度卒、京都第一赤十字病院 管理栄養士)



卒業生が講演

講師の卒業生が、仕事の内容や就活での経験や管理栄養士国家試験の勉強法などを発表し、それぞれの職種について学生の理解が深められるように企画した。

参加数:1回生 35 名(81%)、2回生 34 名(83%)、3回生 37 名(90%)、  
4回生 1 名、教員 4 名、ワクワク職員 3 名、参加総数 114 名。

1~3 回生の参加率は非常に高く、質問も活発にあった。参加の感想として、1 回生(非常に良かった 74%、良かった 26%)、2 回生(非常に良かった 59%、良かった 41%)、3 回生(非常に良かった 72%、良かった 22%)と、非常に良かったとの割合が極めて高いと言えた。

先輩方の発表を聴いて、「今の勉強が生かせる場がたくさんあることを知ることができた」、「それぞれの方の話が全てすごく勉強になった」、「まだ 1 回生だからと思っていたが、今から色々考えなければならなかった」、「これまで自分の将来の姿がまったく想像が付きませんでした、今回のセミナーで夢が広がったように思った。早いうちから勉強していこうと思う」、「仕事の内容だけでなく、国試や就活についても詳しく知ることができたのでよかった」、「またセミナーに参加したいと思った」などの感想があり好評であった。講師 5 人のうち 3 人は卒業 5 年目で、その間に一般企業営業職から病院管理栄養士へ、その後保育園管理栄養士へと転職をしている卒業生がおり、体験談は学生が就職について新しい視点を持つきっかけにもなったことが窺がえた。



在学生在が活発な質問



病院管理栄養士の業務資料を拝見

### ●平成 27 年度第 2 回健康栄養学部就職セミナー ～健栄 教えて！先輩～

2016 年 1 月 18 日(月)16:20~18:30

講師：4 回生就職内定者 6 名

石原 舞さん エームサービス株式会社 管理栄養士

大石早紗さん 小豆島病院企業団 管理栄養士



金谷和香さん 和歌山県学校栄養職員  
西村砂保さん 社会福祉法人 光の村 管理栄養士  
真鍋知花さん 株式会社スギ薬局  
吉永彩乃さん サニーマート株式会社



学校栄養職員 質問コーナー



内定者が質問を受ける

内定を勝ち取った4回生6人に、就活の経過や対策法、その職種を選んだ理由、管理栄養士国家試験対策の勉強法などを発表してもらった。

参加数：1回生41名(95%)、2回生39名(95%)、3回生38名(93%)、4回生6名、教員3名、ワクワクwork!!職員1名、参加総数128名。

1～3回生の参加率は高く、質問も活発にあり盛会であった。参加の感想は、1回生(非常に良かった51%、良かった39%)、2回生(非常に良かった65%、良かった35%)、3回生(非常に良かった51%、良かった38%)で、非常に良かったおよび良かったの割合が極めて高かった。

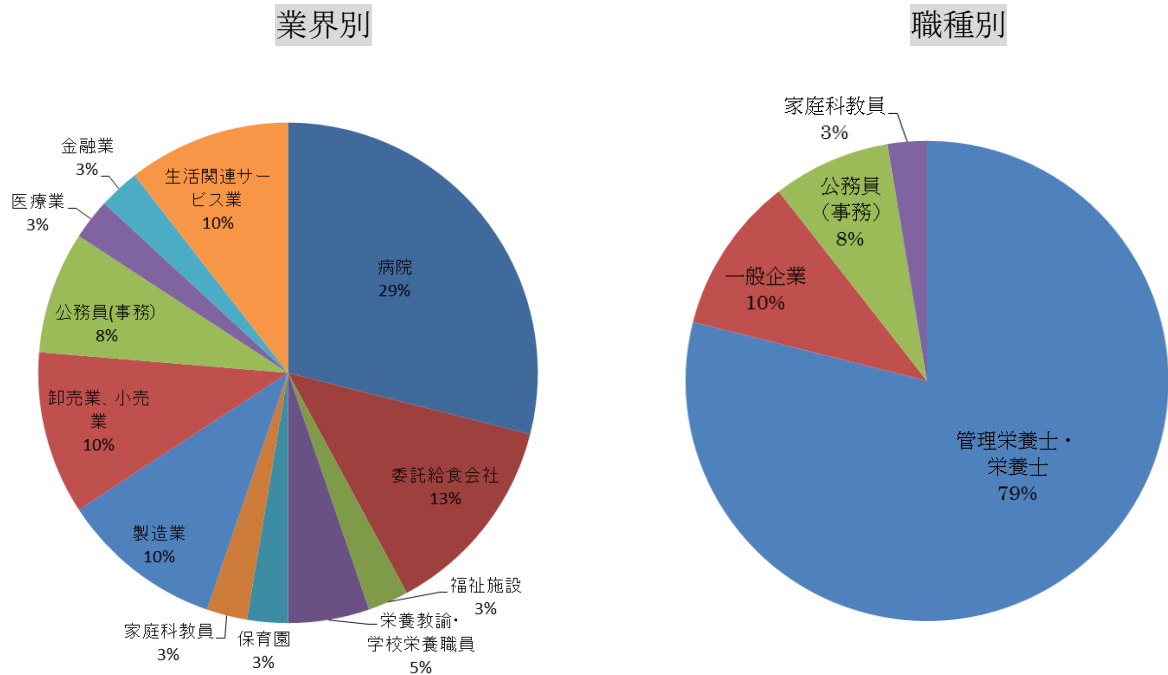
「毎年開いてくれているので、すごく勉強になります」、「また先輩による就職セミナーを開いてほしいです。とても参考になりますし、刺激をもらいます」、「毎年開催してもらい、1～3回生が今自分がすべきことを知る良い機会になると思います」、「みなさん異なる職種だったので、今回の機会がなければ聞くことのできなかったお話が聞けて良かった」、「栄養教諭に固定して考えていたが、他の道もしっかり調べようと思った。1回生のうちに聞けて本当に良かった」などがあった。

## 2. 成果

平成27年度の卒業生は40名で、進学1名、就職希望者は38名であった。就職希望者全員が内定し、就職内定率は100%であった。学部就職担当教員・ワクワクWork!!職員・ジョブサポーター・卒業研究担当教員・学年担当教員・学部キャリア支援部会員の連携した支援・個別指導が内定を取ることに繋がった。管理栄養士の資格と関係ない就職先を希望する学生がいるが、資格を活かした職業に就くことの良さを伝えるようにした。卒業生は一般企業から管理栄養士職に転職する場合がかなりある状況から、将来意識が変わる可能性も大いにあることを話し管理栄養士職への就職の方向性をすすめた。平成27年度は男女共学になって二年目の卒業生であった。男子学生も希望の病院管理栄養士に内定した。今年度も就職内定率は100%を維持することができ、社会への第一歩を踏み出させることができた。学部独自の就職セミナーを開催し8年目を迎え、参加率が毎年非常に高く、参加学生の感想を見ると、就職活動の活性化、内定の獲得に効果を上げていると感じる。就職セミナーでの講演の中で、卒業生がよく話すワクワクWork!!の就職ガイダンスに積極的に参加したほうがよいとの内容が浸透してきたのか、学生の気質のためか、今年度の3回生は就職担当教員から意識的に参加するように声掛けをしなくても、積極的に就職ガイダ

ンスやセミナーに参加し、例年より参加率が高いと言えた。就活本番に向けての準備が例年より早くできていると思われる。

下記に、内定先の業界別および職種別内訳を示す。



### 3. 平成 28 年度の課題

就職できるか、またどこに就職できるのかということは、学部の大きな役割の一つである。健康栄養学部就職支援担当教員はキャリアセンター(ワクワク Work!!)と密に連絡を取り協力して、男女共学化して二年目の平成 27 年度卒業生も就職内定率 100%を達成した。ワクワク Work!!職員は、学生一人一人の性格に合ったきめ細かい就職支援をし、手厚くサポートしており、就職内定率 100%になったのもワクワク Work!!職員の力によるところが大きいと感じている。キャリアセンターのもつ役割は大きく、本学部学生も篤い信頼を寄せている。

今後も就職希望者全員内定を維持するために、キャリアセンターの充実が望まれる。健康栄養学部としてキャリアセンターと連携を図り、学部就職担当教員・学年担当教員・卒業研究指導教員およびキャリア支援部会員の協力体制を充実させ、学生一人一人の個性に合った個別指導をしていくことが重要であると考えます。また学生に就職に対する動機づけとなり刺激を与えている学部主催の就職セミナーを、学生の要望を反映させて充実した形で実施する。

## 14. ファカルティ・デベロップメント (FD) 活動

和田安彦, 水島直子

### 1. 活動目標

健康栄養学部では、教育能力の向上のみならず研究も含めた教員としての全般的な資質および能力の向上を学部 FD 活動の目標として掲げている。特に前年度は研究倫理を全学に先んじて取り上げたが、今年度はそれと関連する内容、すなわち研究者・教育者として身につけておくべき科学哲学を取り上げた。

### 2. 活動内容

#### 1) 健康栄養学部 FD 活動 (2月29日(月)午後)

公開講座『食の健康・リスク情報への向き合い方 ―「安心」ではなく「安全」を』(12月5日(土)開催)のビデオ上映会。参加者は本学部教員7名(公開講座当日の本学部教員参加者は5名)

#### 2) 全学 FD 活動

今年度の新たな全学的試みとして「授業公開」が行われた。これに応じて当学部からは環境衛生学実習(和田安彦、沼田聡、水島直子)が公開された。また、他学部の行う公開授業の見学・意見交換会への本学部からの参加は4科目延べ6人であった。

学外の研修会(SPOD主催)へ学部からの参加は3研修会に延べ6人であった。全学FD委員会主催学内研修会への学部からの参加者は次のとおりであった。

##### ① 学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは? (学部参加者4名)

講師: 高知大学 大学教育創造センター 教育評価ユニット

総合科学系地域協働教育学部門 塩崎俊彦教授

日程: 平成27年9月24日(木)

場所: 池キャンパス A306 教室

##### ② 大学に求められる障がいのある学生支援 (学部参加者2名)

講師: 高知大学 総合教育センター特別修学支援室 松本秀彦特任准教授

日時: 平成27年12月7日(月)

場所: 池キャンパス A217 教室

##### ③ 「アカデミック・レポートの書き方」の教え方 (学部参加者1名)

講師: 香川大学 大学教育基盤センター 佐藤慶太准教授

日時: 平成27年12月18日(金)

場所: 永国寺キャンパス A202

上記1)、2)のFD活動への本学部教員15名の参加状況は、参加延総人数31人(1人平均2.1回)であった。

### 3. 活動成果

全学FDでは「授業公開」が新たに試みられ、総合大学としての利点が発揮された。すなわちお互いに他の専門領域の授業から各種手法や考え方を学ぶことができた。次年度以降、より自由にお互いの授業を見学し合う環境になっていくものと思われ、今後の展開が期待される。

荒牧礼子, 和田安彦, 渡邊浩幸

### 慢性腎臓病(CKD) 料理教室

開催日時：平成 27 年 12 月 22 日 (火) 10:00~13:00

開催場所：高知県立大学 本部・健康栄養学部棟 1 階 調理学実習室

対 象：慢性腎臓病(CKD) 治療中の患者および家族など

参加者数：17 人 (スタッフ含む)

#### (1) 事業概要

昨年に引き続き、医療センターと連携の下、慢性腎臓病(CKD)の重症化予防のため、患者、家族に向けた料理教室を行った。CKDは新たな国民病とも言われ、その患者は現在日本では8人に1人、高知県では約7万人と推測されている。末期腎不全や心血管疾患の発症リスクであり、末期腎不全になると人工透析が必要となる。健康日本21(第二次)においても主要な生活習慣病の重症化予防の徹底を図ることが掲げられており、生活習慣病の重症化予防は国の重要課題となっている。そこで昨年に引き続きCKDの重症化予防対策として、平成25年度に作成した「慢性腎臓病(CKD)患者さんのための食事療法手引き」を利用して料理教室を開催した。医療センタースタッフ(渡邊慶子栄養局長、坂本一美、吉松香絵)が、CKDについて治療食の重要性の講義と、「春の献立」の説明を行い、本学教員と学生スタッフも実習班に入り、参加者とともに昼食または夕食のいずれかを班ごとに調理した。朝食は試食できるように予め準備しておいた。今年度は、各自で調味料を計量し調理を行った。



#### (2) 活動成果

朝食の提供により、家庭の味噌汁の味と比較することで、適切な食塩濃度の味を知るきっかけとなった。

昨年に引き続いての参加者が多く、新聞広告を見て参加された方は少なかった。参加理由は、興味があったからと回答があり、「CKD 食事療法の必要性はよく理解できた」「次回も料理教室に参加したい」との意見が多く聞かれた。味と摂取塩分量を確認しながらの実習により、参加者からは計量の必要性を実感する感想が多く聞かれた。その他、「低たんぱくとは思えないおいしさ」「量などがはっきり確認できました」などの感想が聞かれ、イメージと実際との違いを感じていただき、実践へ近づくことができた。



食事療法の必要性について、参加者全員が「理解できた」と回答していた。また、料理教室についても、全員が「参考になった」と回答。自由記述欄からは、実践への意欲につながっている意見が多く聞かれ、良い結果が得られた。

## 16. 災害プロジェクト委員会

廣内智子, 川村真美

災害対策プロジェクト委員会は、全学的に、以下の4点を目的として実施されている。

- 1) 教育研究機関としての防災対策(県下大学との連携を含む)の立案
- 2) 高知医療センターとの連携
- 3) 地域住民の避難所として準備体制づくり
- 4) 専門家集団としての役割の遂行

本学部としては、災害対策プロジェクト委員会の活動の中で、高知医療センター・高知県立大学合同災害訓練(10月)、池キャンパス高知県立大学避難訓練(12月)に参加した。合同災害訓練では主に非常食提供の役割を担った。災害対策プロジェクト委員会の中で、災害時の食糧や飲料水等の備蓄品の発注管理等を担当した。

### I. 高知医療センター・高知県立大学合同災害訓練

訓練の目的

高知医療センターが基幹災害拠点病院としての機能を果たせるように、医療センターに来院した軽症者と避難者を高知県立大学が避難所となり受け入れる。また、災害発生時に医療センター内にいる帰宅困難者(外来患者、面会者、業者等)のうち、医療センターから受け入れ要請のあった者を避難所で収容する。昨年に引き続き、以上を通して災害時の課題を抽出・分析し、今後作成する災害対応マニュアル等の基礎データとする。これにあわせ、医療センターおよび県立大学にて、それぞれの独自の訓練を加える。そのうち、健康栄養学部は食料等対応チームとして下記について訓練を行った。

日 時：平成27年10月3日(土) 8:00~12:15

場 所：高知県立大学池キャンパス 体育館内及び体育館前駐輪所付近

役 割：避難所(体育館)での食事提供

対象者：教職員・学生・地域住民などのエキストラ 540名

担当者：健康栄養学部教員 11名(内訳：本部2名、医療班1名、傷病者1名、食料対応チーム7名)

健康栄養学部学生 43名(内訳：1回生9名、2回生15名、3回生16名、4回生3名)

内 容

- ① 飲料水の提供
- ② マジックライス(白米)の提供：250食(不足分は、山菜おこわを提供(39食))
- ③ 豚汁の提供：コンロカートを使用。下処理、調理、食後の洗浄等に備蓄飲料水を使用
- ④ 手洗い：節水タンク・噴霧器のどちらか選択方式
- ⑤ 栄養補助食品の提供
- ⑥ 日本栄養士会所有災害支援医療緊急車両(JDA-DAT 河村号)の展示
- ⑦ JDA-DAT 河村号と日本栄養士会栄養士が派遣された9月の茨城県常総市豪雨災害救援活動のパネル展示
- ⑧ 昆虫食の展示

## 高知医療センターとの連携

5月19日に健康栄養学部学部長と災害対策プロジェクト委員2名、医療センター栄養局の局長と災害対策委員1名での打ち合わせを行い、訓練内容について検討し、大学から栄養局への備蓄食品の提供数などを決定した。

10月1日に大学より栄養局へ下記の備蓄食品を提供した。

マジックライス：200食（50食／箱×4箱）

飲料水：48L（2L×6本／箱×4箱）

## まとめ・課題

今後の災害時食事提供の参考にするため、訓練終了後に参加者に食料対応チームについてのアンケートを実施し、集計結果を災害対策プロジェクト委員会に報告した。また学部内で反省会を行い、前年より改善した点や問題点などの意見を出し、それをまとめて災害対策プロジェクト委員会に報告した。今年度の反省点およびアンケート結果をふまえて、来年度の訓練内容をより良く改善する。今後も、実際の緊急時に備え、高知医療センター栄養局と合同で食事が提供できるよう常に情報交換をすすめていく。

## ～訓練の様子～



豚汁の作成



(JDA-DAT 河村号) の展示

## Ⅱ. 池キャンパス高知県立大学避難訓練

日時：平成27年12月1日（火） 11:50～12:40

場所：高知県立大学池キャンパス

対象者：高知県立大学教職員と学生

## 内容

南海トラフ地震および津波を想定した避難訓練を行った。事前に学生に訓練情報を知らせ、なるべく多くの学生が参加できるようにした。学生がどのように非難し身を守るのかを体験させ、避難に関する課題を抽出することを目的とした。訓練終了後にアンケートを実施し、集計結果と見つかった問題点などを災害対策プロジェクト委員会に報告した。



地震時、机の下にもぐる

## 17. 健康栄養学部リカレント講座

和田安彦, 廣内智子

公開講座：食の健康・リスク情報への向き合い方

— 「安心」ではなく「安全」を

講演およびシンポジウム

開催日時：平成 27 年 12 月 5 日（土）13:00 ~ 15:30

開催場所：高知県立大学 永国寺キャンパス教育研究棟 101

講師：①講演 岩田健太郎氏（神戸大学教授）

②シンポジウム 岩田健太郎 氏

一色健司（高知県立大学地域教育研究センター 教授）

和田安彦（高知県立大学健康栄養学部 教授）

対象：一般県民、学生、教職員、保険医療福祉関係者、行政関係者

参加者数：100 名（本学部教員 5 名、他学部教員 3 名、学生 35 名、一般 47 名）



### 1. 事業概要

感染症をはじめとするリスク管理の専門家・作家を招いて科学哲学に関する講演会・シンポジウムを行った。ネットやマスコミの情報だけに頼ると印象に振り回されてしまう。例えば食品の中で一番の死亡原因はアルコールであるが事件としてあまり報道されないため、そのリスクは一般に認識されていない。食品そのものではなく「情報もしくはイメージを食べている」ので、宣伝により真価より高額な食品を買わされてしまう。科学的根拠にもとづかないフワフワとした「安心」に頼ると印象操作されやすく危険。科学の基本は常に自他の説が正しいかを疑ってかかることであり、これが宗教との違いである。真の科学者はこの意味で「謙虚」である。食品の健康効果については1つの検査値ではなく「真のアウトカム」が改善されること、大人数を用いた厳密な比較試験が必要であり、これらを満たしている「トクホ」は少ない。栄養と健康の関係は複雑系であり、因果関係証明のためには根拠の積み上げと合意形成が必要である。臨床診療ガイドラインですら利益相反の管理が不十分で利害関係者の影響を排除しきれていない。以上のような論点が議論された。食を科学する研究者・教育者として、特に「産官学連携」を進める上で身につけておくべき研究倫理・科学哲学の内容を含んでいた。

### 2. 活動成果

昨今の食品表示制度の改定に伴い、消費者保護に立脚した食育の推進が重要となっている。このためには教育者および一般市民が科学哲学を身につけることが重要と考え、研修会の内容と形式を決定した。結果、意見交換が活発に行われ、議論が深まった。一般参加者を含めたアンケートで「大変参考になった、参考になった」が8割であり、有意義な活動であったと評価される。



18. 委員会一覧

委員会名	担当者	委員会名	担当者	
教育研究審議会	和田安彦	国際交流委員会	荒牧礼子	
部局長会議	和田安彦	健康管理センター運営委員会	島田郁子	
地域教育研究センター (AERU)		広報専門委員会	村上尚	
地域教育研究センター一部会長会議	渡邊浩幸(産官学研究部会長)	総合情報センター運営委員会	西岡道子	
		図書部会	西岡道子	
共通教育部会	鈴木麻希子	情報処理部会	西岡道子	
教職課程専門委員会	逸見幾代(栄養), 鈴木麻希子(家庭)	人権委員会	村上尚	
		自己点検・評価運営委員会	和田安彦	
生涯学習部会	廣内智子, 和田安彦	FD 委員会	和田安彦	
キャリア支援部会	西岡道子	紀要編集委員会	鈴木麻希子	
産官学研究部会	渡邊浩幸(産官学研究部会長)	災害対策プロジェクト委員	廣内智子, 川村真美	
		動物実験審査委員	和田安彦, 渡邊浩幸	
地域課題研究部会	渡邊浩幸	学年担当教員	1 回生	島田郁子, 沼田聡
教務委員会	村上尚		2 回生	鈴木麻希子, 田中守
健康長寿センター運営委員会	荒牧礼子, 水島直子		3 回生	和田安彦, 水島直子
			4 回生	荒牧礼子, 川村真美
学生委員会	西岡道子			
学部	学部運営会議	和田安彦, 荻沼一男, 渡邊浩幸, 村上尚, 逸見幾代		
	カリキュラム検討委員会	和田安彦, 荻沼一男, 渡邊浩幸, 村上尚, 鈴木麻希子, 逸見幾代		
	研究倫理審査専門委員会	荒牧礼子, 村上尚, 鈴木麻希子		
	自己点検・評価委員会	和田安彦, 村上尚		
	国家試験対策委員会	荒牧礼子, 廣内智子, 田中守		
	国際交流ワーキング	荒牧礼子, 島田郁子, 渡邊浩幸, 和田安彦, 村上尚		
	就職支援	渡邊浩幸, 川村真美		
	学部報編集委員	西岡道子, 彼末富貴		
	広報	彼末富貴		
	FD	水島直子		
	医療センター連携委員	廣内智子		
臨地実習委員会	荒牧礼子, 島田郁子, 廣内智子, 水島直子, 沼田聡			



19. 入学試験状況の概要(2016年度)

( ) 内：男子

区分		募集 人員 A (名)	志願者数 B(名)		受験者数 C(名)		合格者数 D(名)		入学者数 (名)		志願 倍率 (%)	合格 倍率 (%)
			全体	県内	全体	県内	全体	県内	全体	県内		
推薦	一般 県内	10	26	26	26	26	10	10	10	10	2.6	2.6
	一般 全国	5	47 (4)	1	47 (4)	1	5 (1)	1	5 (2)	0	9.4	9.4
	合計	15	73 (4)	27	73 (4)	27	15 (1)	11	15 (1)	11	4.9	4.9
個別	前期	25	86 (10)	12 (1)	82 (9)	12 (1)	27 (2)	4	25 (3)	4	3.4	3.0
	社会人	若干 名	1	1	1	1	0	0	0	0	—	—
	私費外国 人留学生	若干 名	2		2		1		1		—	2.0
	合計	40	162 (16)	40 (1)	158 (15)	40 (1)	43 (4)	15	36 (5)	15	4.1	3.7

20. 進学説明会・本学訪問・365日オープンキャンパス状況

	進学説明会への参加数	本学訪問学校数	365日オープンキャンパス参加数
県内	9	7	6
県外	0	4	23
合計	9	11	29

## Ⅱ. 学生の記録

1. 学生の都道府県別出身高校数
2. 教育における学外施設の利用状況
3. 資格所得状況の概要（2015年度）
4. 国家試験の合格者状況（新卒者）
5. 就職状況の概要
6. インターンシップの実施状況（2015年度）
7. 学生の海外研修等（2015年度）
8. 2015年度 卒業研究題目一覧
9. 学生の受賞
10. 学生の課外活動・イベントで特徴的な事項の一覧



## 1. 学生の都道府県別出身高校数

(単位：名)

	1回生	2回生	3回生	4回生	合計
北海道					
青森県					
岩手県					
宮城県					
秋田県					
山形県					
福島県					
茨城県				1	1
栃木県					
群馬県				1	1
埼玉県			1		1
千葉県					
東京都		1		1	2
神奈川県					
新潟県					
富山県		1	2	1	4
石川県		1			1
福井県			1		1
山梨県					
長野県					
岐阜県			1	1	2
静岡県			1		3
愛知県	1	4		2	6
三重県	1				1
滋賀県			1	1	4
京都府		1			2
大阪府	3			1	1
兵庫県	1	4	7	3	15
奈良県					
和歌山県	2	2		1	4
鳥取県	4		1	1	2
島根県	1			1	3
岡山県	1	2			2
広島県	2	2	1	1	7
山口県				1	2
徳島県	3	3	2	2	7
香川県	5	2	2	1	6
愛媛県	3	2	1	2	8
高知県	14	15	15	17	67
福岡県					
佐賀県					2
長崎県		1	1		2
熊本県				1	1
大分県			2		2
宮崎県			1		3
鹿児島県	1				
沖縄県			1	1	2
合計	43	41	41	41	167

## 2. 教育における学外施設の利用状況

実習名	実習先	実習期間	実習生(名)
地域公衆栄養学 臨地実習	須崎福祉保健所	2015. 8. 31～9. 4	7
	高知市保健所	2015. 8. 31～9. 4	8
	中央東福祉保健所	2015. 8. 31～9. 4	8
	中央西福祉保健所	2015. 8. 31～9. 4	7
	幡多福祉保健所	2015. 8. 31～9. 4	4
	安芸福祉保健所	2015. 8. 31～9. 4	7
給食経営管理臨地実習	高知医療センター	2015. 9. 7～9. 11	20
		2015. 9. 14～9. 18	21
臨床栄養学臨地実習Ⅰ	高知医療センター	2016. 2. 15, 2. 18～2. 24	21
		2016. 2. 15, 3. 7～3. 11	20
臨床栄養学臨地実習Ⅱ	高知医療センター	2016. 2. 29～3. 4	21
		2016. 3. 14～3. 18	20
地域実践栄養学 臨地実習	細木病院	2015. 5. 11～5. 15	3
	近森病院	2015. 5. 11～5. 15	1
	とさの里 (介護施設)	2014. 6. 15～6. 19	2
	高知駐屯地	2014. 6. 15～6. 19	2
学校栄養教育実習	高知市立大津小学校	2015. 6. 1～6. 12	2
	南国市立岡豊小学校	2015. 6. 1～6. 12	1
	南国市立十市小学校	2015. 6. 8～6. 19	2
	南国市立後免野田小学校	2015. 6. 8～6. 19	1
	南国市立長岡小学校	2015. 6. 8～6. 19	1
介護等体験	高知県立盲学校	2015. 7. 30～7. 31	1
	高知大学 教育学部附属特別支援学校	2015. 11. 26～11. 27	1
教育実習 (家庭科)	滋賀県立米原高等学校	2015. 5. 21～6. 29	1
	高知県立西高等学校	2015. 6. 9～6. 29	1

### 3. 資格取得状況の概要 (2015 年度)

(単位：名)

管理栄養士国家試験受験資格	栄養士免許証	教員免許	
		栄養教諭 一種	家庭 中学校教諭一種・高等学校教諭一種
40	40	7	2

### 4. 国家試験の合格者状況 (新卒者)

受験年度	2015 年度	2014 年度	2013 年度
国家試験回数	第 30 回	第 29 回	第 28 回
受験者数 (名)	39	41	38
合格者数 (名)	31	39	37
合格率	79.5%	95.1%	97.4%

### 5. 就職状況の概要

(単位：名)

		2015 年度
管理栄養士・栄養士		20
教員	栄養教諭	1
	家庭科	1
学校栄養職員		1
製造・卸売業・小売業		8
一般企業		3
公務員事務		3
金融業		1
就職合計		38
進学等		1
その他		1
卒業生数		40

### 6. インターンシップの実施状況 (2015 年度)

(単位：名)

1 回生	2 回生	3 回生	4 回生
0	7	0	0

### 7. 学生の海外研修等 (2015 年度)

協定校	国名	交流日	交換人数
サバ大学	マレーシア	2015. 3. 3～3. 14	2 回生 3 名

## 8. 2015年度 卒業研究題目一覧

1. 食品標準成分表の経時的変化について～野菜類～(鳥田すみれ・芳之内瞳 栄養教育論研究室)
2. 高知県内の若年者の朝食実態と栄養教育への試み  
(一圓紘嘉・大西春菜・西村砂保 栄養教育論研究室)
3. 給食経営管理実習における災害時教育への挑戦ーサバイバルメシコンテストの試みー  
(金谷和香・真鍋知花 給食経営管理研究室)
4. 食肉軟化剤を用いた肉軟化についての基礎的検討(桑村亜矢子・島本亜弥 給食経営管理研究室)
5. 高齢者施設における喫食率について(大石早紗・柴田彩果 給食経営管理研究室)
6. 加齢と高脂肪食により増加するアルギニンメチル化たんぱく質の同定  
(中川あずさ 栄養学研究室)
7. リコンビナント lipocalin-type prostaglandin D synthase(L-PGDS)の大量調製法の確立  
(比嘉華花 栄養学研究室)
8. 鶏L-PGDSに対するモノクローナル抗体の調製とその活用(井原未紗子 栄養学研究室)
9. 加工食品中のリンの定量(須藤ひかり 栄養学研究室)
10. アオノリの鉄の定量(吉永彩乃 栄養学研究室)
11. 加熱調理によるニラの葉酸含量の変化(川上ひかり 調理学研究室)
12. オイルサーディン缶のビタミンB<sub>12</sub>含量(島田侑果 調理学研究室)
13. 養殖魚の飼料条件による体成分の変動(芝優生 食品科学研究室)
14. 担子菌発酵大豆の機能性評価(永井瑞月 食品科学研究室)
15. 脂肪酸とグルコースが肝細胞のメチル基転移酵素群の遺伝子発現に及ぼす影響  
(高橋拓也 食品科学研究室)
16. マウスの食餌条件がうつ行動に及ぼす影響(田部大樹 食品科学研究室)
17. クロモジの機能性(石原舞 食品科学研究室)
18. しゃもじの種類と置く環境による細菌数の差について(小野今日子 病態学研究室)
19. サバ切り身を加熱することによる保存中のヒスタミン生成量の違い(岡崎有希 病態学研究室)
20. ペットボトル飲料中での大腸菌、ブドウ球菌の増殖(伊藤夢 病態学研究室)
21. 高知ファイティングドッグスにおける野球選手の食生活の実態について  
(鮫島僚佑 病態学研究室)
22. 緑茶と烏龍茶の抗菌効果について(大住明加・山田侑菜 病態学研究室)
23. 女子高校生における食生活と健康に対する意識調査  
(額賀美友紀・柘田葉奈・柴岡美裕 公衆栄養学研究室)
24. 女子大学生における菓子パン摂取と脂質への影響について  
(垂水彩花・森長千春 公衆栄養学研究室)
25. 野生食材の地域・世代別利用実態と意識(吉川千晴 健康生態学研究室)
26. 高知県における飲酒・ギャンブルの依存傾向に関する調査(大崎濤 健康生態学研究室)
27. 受理された機能性表示食品の届出内容と根拠となる論文の質の検証  
(守屋望未 健康生態学研究室)
28. 大学生におけるカフェインに関する知識と摂取状況(勝股宥妃 健康生態学研究室)
29. 災害時に適用可能な、流水を用いた手洗い法における節水性の検討  
(藤原礼子 健康生態学研究室)
30. 大学生の自転車利用の実態とその危機・安全意識に関する調査  
(三宮晶子 健康生態学研究室)

9. 学生の受賞

表彰名	学年	氏名	功績・賞の概要
学長賞 2015. 3. 3	3 回生	杉沢江里子	「高知県学生献血クロス倶楽部」において、1 回生の時から、ボランティア活動を勢力的に行った。3 回生ではリーダーを務め、クロス倶楽部全体の知識向上のために定例会でグループワークなどの学ぶ機会を設け、学生活動を活発化させた。また、中・四国会議や全国会議にも出席し、中・四国ならびに全国規模の統一イベントの企画、運営にも参画し、献血の普及、啓発活動に貢献した。
	4 回生	吉永彩乃	公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウスこうちにおいて病気の子どもを持つ家族がすこしでも快適に過ごせるよう部屋の掃除や花の水替え等を行ったり、イベントにも積極的に参加するなど、幅広いボランティア活動を4年間続けることでドナルド・マクドナルド・ハウスの運営および普及活動に貢献した。
	3 回生	今西友梨花, 上原志緒梨, 浦川美保, 上岡茉由, 式地麻湖, 高須賀麻美, 成田小百合, 西美佳	「こめっ娘。」を立ち上げ、米粉の啓発と嶺北米粉と高知の食材を使用したレシピ開発などに継続して取り組み、高知の食が美味しく魅力あるものであるという啓発活動に貢献した。平成25年度には第一回全国米粉料理レシピコンテストデザート部門で敢闘賞を受賞した。管理栄養士を目指す学生として高知県の食材に着目しそのよさを引き出し、地域活性化につなげたことは高知県の「まち・ひと・仕事創生」へ学生として参加したこととして評価されている。
		清水幹生, 松本初音 (他学部 10 名)	「イケあい地域災害学生ボランティアセンター」の中でも中心的な役割を担ってきた。「イケあい地域災害学生ボランティアセンター」は防災活動への取り組みが認められ、兵庫県・毎日新聞等が主催する平成27年度ぼうさい甲子園において大学部門の3位にあたる「奨励賞」を受賞した。「ぼうさい大賞」、「消防庁長官賞」(防災まちづくり大賞)と3年連続で全国表彰を受賞し、防災活動においては全国の大学の中でもトップランナーと評価されるとともに、防災担当大臣・大臣政務官の本学訪問など本学の名誉を著しく高めた。
	2 回生	小田菜摘 (他学部 9 名)	第66回四国地区大学総合体育大会ソフトボール競技女子の部において優勝し、他のサークル活動の模範となる功績をあげた。
(社) 全国栄養士養成施設協会 会長 2016. 3. 17	4 回生	真鍋知花	栄養士課程および管理栄養士養成課程を優秀な成績で卒業する学生を対象に、社団法人全国栄養士養成施設協会が表彰した。



10. 学生の課外活動・イベントで特徴的な事項の一覧

実施日	活動・イベント名	担当教員	活動・イベントの概要
2014. 6. ～ 2015. 3	学生プロジェクト立志社中「それいけ！大野見エコ米～No Rice No Life～」	田中守, 沼田聡	レシピ集作成, 地域との交流等を通じて中土佐町大野見地区の地域活性化を目指す。
2015. 10. 29～31	ものづくり総合技術展	渡邊浩幸, 川村真美, 彼末富貴	高知県・公益財団法人高知県産業振興センター(ものづくり地産地消センター) 主催。健康栄養学部こめっ娘。による米ビスの試食を実施。
2015. 11. 3	高知家ハッピーフェスティバル	沼田聡, 島田郁子	高知県主催。「高知県少子化対策県民運動」の一環として開催されたフェアである。健康栄養学部では料理教室と食育支援を行った。
2015. 12. 23	チャリティーケーキの販売		新潟中越地震後毎年、中心商店街のクリスマスイベントで手作りお菓子を販売、その売り上げを募金している。
2016. 1. 30～31	やさい・くだもの・花フェスタ	渡邊浩幸, 彼末富貴	高知県園芸連主催。高知のやさい・くだもの・花フェスタのワークショップマルシェにて、嶺北高校生と一緒に高知の野菜を使ったジュースと米粉のドレッシングを提供
2016. 2. 20	学生が語る「地域に関わる」ということ	沼田聡, 田中守	高知大学主催。立志社中チームであるCOME☆RISHのこれまでの活動報告を行った。
2015年5回	高知県水産物PRキャンペーン「お魚料理教室」	彼末富貴	魚料理の普及活動として、子供が楽しく作れるさかなのメニュー作りと料理教室を担当した。

### Ⅲ. 教員の教育・研究・地域貢献活動

1. 和田 安彦
2. 村上 尚
3. 渡邊 浩幸
4. 荒牧 礼子
5. 鈴木 麻希子
6. 西岡 道子
7. 島田 郁子
8. 廣内 智子
9. 田中 守
10. 沼田 聡
11. 水島 直子
12. 彼末 富貴
13. 川村 真美
14. 逸見 幾代



## I. 教育活動

### 【学部】

- ・健康栄養学基礎 (オムニバス)
- ・健康情報論実習
- ・公衆衛生学
- ・地域健康論
- ・環境衛生学実習
- ・介護論 (オムニバス)
- ・食と介護 (実習) (オムニバス)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・疫学 (看護学科)

### 【大学院・人間生活学研究科 (博士前期課程)】

- ・栄養・生活特論 I
- ・栄養・生活特論 II
- ・栄養・生活統計論
- ・健康動態論
- ・栄養・生活学特別研究演習

### 【大学院・人間生活学研究科 (博士後期課程)】

- ・健康動態学
- ・栄養・生活学特別研究 I, II

## II. 研究活動

### 【著書】

1. 和田安彦, 小泉昭夫 (2015) 第2章 疫学 遺伝疫学, 遺伝性出血性末梢血管拡張症(オスラー病;HHT)の診療マニュアル 増補版 (塩谷隆信 編), p 11-17, 中外医学社, 東京.

### 【論文】

1. Ikehara S1, Iso H, Wada Y, Tanabe N, Watanabe Y, Kikuchi S, Tamakoshi A; JACC Study Group. (2015) Television Viewing Time and Mortality From Stroke and Coronary Artery Disease Among Japanese Men and Women - The Japan Collaborative Cohort Study. Circ J. 79: 2389-95.

### 【報告書】

1. 和田安彦 (2015) 在宅死もしくは老衰死 (自然死) の割合の地域差と医療体制や死生観との関連, 平成26年度高知県立大学「科研費」獲得支援助成事業実績報告書, p1-2.

## III. 委員会活動

1. 学部長
2. 動物実験審査委員会委員長
3. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会部会長
4. 自己点検・評価委員会委員
5. FD 委員
6. 生涯学習部会員
7. 学年担当 (3 回生)
8. 大学院 学務委員

## IV. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 日本衛生学会評議員

2. 日本職業・災害医学会評議員
3. 日本産業衛生学会四国地方会監事
4. 高知出版学術賞審査委員会審査委員
5. 高知県食の安全・安心推進審議会委員
6. 高知県農林業基本対策審議会特別委員

#### 【講演・講習会】

1. 和田安彦：食と安全 ～ 受身の「安心」から根拠に基づく判断へ ～. 高知県立消費生活センター主催 平成 27 年度高知短期大学との連携講座「消費生活講座」, 高知県立大学教育研究棟, 2015 年 9 月 13 日.
2. 和田安彦：歴史から学ぶ食育と衛生の基本的考え方. 第 12 回西日本児童養護施設職員セミナー 高知大会 第 6 分科会「小規模化と食育」, 高知会館, 2015 年 9 月 17 日.

#### 【新聞報道等された社会貢献】

1. あなたの住んでいる地域ではどの「がん」が多いか?、朝日新聞、関口一喜執筆記事「イチ押し週刊誌」、2015 年 6 月 3 日

## V. 研究助成

#### 【学外】

1. 厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）：追跡終了後コホート研究を用いた共通化データベース基盤整備とその活用に関する研究（平成 27 年度）（代表：玉腰暁子）（研究協力者）（文部省がんコホート研究：JACC Study 班員）

#### 【学内】

1. 平成 27 年度 高知県立大学「科研費」獲得支援助成事業：老衰死に至る要因とそれを受容する死生観の地域差（和田安彦）400 千円

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・人体の構造と機能 I
- ・人体の構造と機能 II
- ・疾病論 I
- ・疾病論 II
- ・臨床医科学
- ・生化学 I (オムニバス)
- ・健康栄養学基礎 (オムニバス)
- ・食品衛生学 (オムニバス)
- ・食品衛生学実験 (オムニバス)
- ・生体科学実験・実習
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座

## II. 委員会活動

1. 教務委員会委員
2. 人権委員会委員
3. 池事業場衛生委員会委員
4. 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)ワーキング委員
5. 運営委員(学部)
6. 研究倫理審査専門委員(学部)
7. 国際交流ワーキング委員(学部)
8. 自己点検・評価委員会委員

## III. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 日本肥満学会評議員
2. 日本糖尿病学会会員
3. 日本生化学会会員
4. 日本分子生物学会会員
5. 高知県衛生研究所研究協議会委員

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・食品学
- ・食品衛生学 (オムニバス)
- ・食品の栄養素と機能
- ・食材学
- ・卒業研究
- ・食品学実験
- ・食品衛生学実験 (オムニバス)
- ・健康栄養学基礎 (オムニバス)
- ・管理栄養士国家試験対策講座

### 【大学院・人間生活学研究科 (修士課程)】

- ・食品科学論Ⅱ
- ・食物科学実践演習

### 【大学院・健康生活科学研究科 (博士後期課程)】

- ・食品機能学

### 【非常勤】

- ・RKC 調理師学校

## II. 研究活動

### 【論文】

1. K.Yoshinagaa, K.Sasaki, H.Watanabe, K.Nagao, Nao I.Bungo Shirouchi, T.Yanagita, T.Nagai, H.Mizobe, K.Kojima, F.Beppu, N.Gotoh (2014) Differential effects of triacylglycerol positional isomers containing n-3 series highly unsaturated fatty acids on lipid metabolism in C57BL/6J mice. *J. Nutr. Biochem* **26**, 57-63.
2. F. Beppu, K. Konno, T. Kawamatsu, T. Nagai, K. Yoshinaga, H. Mizobe, K. Kojima, H. Watanabe, and N. Gotoh (2015) Comparison on the catabolism rate of <sup>13</sup>C labeled palmitic acid binding at between alpha and beta position of triacylglycerol using expired gas from mouse. *Eur. J. Lipid Sci. Technol*, **117**, 718-723.

### 【著書】

1. 渡邊浩幸 (2015) 食品学総論 (辻英明ら編), p 131-139. 講談社サイエンティフィク, 東京.
2. 渡邊浩幸 (2015) 食品学各論 (辻英明ら編), p 64-79. 講談社サイエンティフィク, 東京.

### 【学会発表】

1. Y.Kozuki, Y.Nakajima, Y.Okuhara, Y.Ito, R.Osato-Sasada, T.Sato, H.Watanabe, Anti-proliferative effects and quantitative structure-activity relationship of phytosterols and other sterols on Colon-26 cells., ACN2015 12th Asian Congress of Nutrition. Yokohama, Japan. 14 - 18 (2015. 5. 14-18)
2. 渡邊浩幸, 川村真美, 田中伸幸, 高脂肪食給与マウスにおけるカンナデンプンの抗肥満作用, 第 36 回日本肥満学会, 名古屋 (2015. 10. 3)
3. 渡邊浩幸, 島田郁子, 岡田英, 河野淑子, 荻沼一男高知県内食品企業への生産管理高度化支援, 第 13 回産学連携学会, 諏訪 (2015. 6. 25)

## 【その他】

『大腸がん抑制に関する研究』の内容に関する特許を取得した。

発明の名称：抗悪性腫瘍組成物

特許出願番号：特願 2016-043300

発明者：酒井智文，相部かおり，太田慶彦，渡邊浩幸，川村真美，小築康弘

特許出願人：株式会社ファンケル

提出日：平成 28 年 3 月 7 日

## Ⅲ. 委員会活動

1. 産官学研究部会
2. 地域課題研究部会
3. 学部運営委員（学部）
4. 就職担当（学部）

## Ⅳ. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 社団法人日本栄養食糧学会代議員
2. 社団法人日本脂質栄養学会評議員
3. 日本肥満学会会員
4. 日本食品科学工学会会員
5. 土佐フードビジネスクリエーター(FBC)人材創出 講義担当
6. 高知県食品産業研究会チーフアドバイザー
7. 高知県事業診査アドバイザー

### 【講演・講習会】

1. 高知市市民講座 聞く・知る・学ぶ！こうちの特産、再発見「生産量日本一の県民として知りたい生姜のこと」講師 2015 年 11 月 11 日

## V. 研究助成

### 【学外】

1. 2015 年度学術研究助成基金助成金基盤研究(A)：「レアー・プランツのインベントリーと補完食品素材開拓のための活性評価の再構築」
2. 平成 26 年度高知県地域研究成果事業化支援事業：「飲酒による脳萎縮を軽減する健脳飲料の研究開発」

### 【学内】

1. 平成 27 年度 科研費獲得支援事業：「飲酒による脳萎縮を軽減する健脳飲料の研究開発」



## I. 教育活動

### 【学部】

- ・ 公衆栄養学 I
- ・ 公衆栄養学 II
- ・ 健康栄養学
- ・ 地域公衆栄養学実習
- ・ 地域公衆栄養学臨地実習
- ・ 地域実践栄養学臨地実習 (共担)
- ・ 管理栄養士総合演習 I (オムニバス)
- ・ 管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・ 生活技術援助 III (社会福祉学部)  
(オムニバス)
- ・ 卒業研究
- ・ 管理栄養士国家試験対策講座 (オムニバス)

## II. 研究活動

### 【論文】

1. 荒牧礼子, 都島基夫, 北村章: 若年成人女性における脂肪エネルギー過多状態の原因推定, 日本未病システム学会雑誌 **21(2)**, 19-27 (2015)
2. Yoshiteru Akezaki, Yoshiaki Mori, Takuo Nomura, Koji Nagino, Reiko Aramaki, Eiji Nakata: The value of weight-bearing rate on the paretic lower limb for an independent walking without a cane in patients with stroke, JAHS **6 (2)**, 36-42 (2015)

### 【学会発表】

1. Reiko Aramaki, Mizuho Nonomura: Commitment to health longevity based on the national strategy on dementia: 第6回日中文化フォーラム, 雲南農業大学, 2015年9月
2. 荒牧礼子, 石川麻衣, 池田光徳, 池添志乃, 田之頭恵里: 児童・生徒を対象とした生活習慣病予防健診受診後のこども自身による健康管理の変化, 第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎, 2015年11月
3. 荒牧礼子, 野々村瑞穂: 勤労者層における食物摂取状況の解析, 第22回日本未病システム学術総会, 北海道, 2015年10月
4. 荒牧礼子, 水島直子: 市販菓子類のPFC比バランスと女子高校生の菓子類摂取状況に関する検討, 第7回日本未病システム学会近畿, 2015年8月

### 【報告書】

1. 荒牧礼子 (2015) 高知県立大学創基70周年記念事業特別公開講座「冬の季節の老化予防」. p14-17. 2015活動報告, 高知県立大学健康長寿センター, 高知
2. 荒牧礼子 (2015) 高知医療センター・高知県立大学包括連携協議会連携事業「慢性腎臓病料理教室」. p88-92. 2015活動報告, 高知県立大学健康長寿センター, 高知

## III. 委員会活動

1. 健康長寿運営委員
2. 国際交流委員: 2016年3月3日~3月10日 マレーシア国立サバ大学研究交流、学生引率
3. 健康栄養学部研究倫理審査委員長 (学部)
4. 管理栄養士国家試験対策委員長 (学部)
5. 臨地実習委員 (学部)
6. 国際交流ワーキング委員

7. 学年担当（平成 24 年度入学生）

#### IV. 社会的活動

##### 【社会貢献活動】

1. 高知県栄養士会理事
2. 日本未病システム学会評議員
3. 日本栄養・食糧学会員
4. 日本公衆衛生学会会員
5. 日本栄養改善学会員
6. 日本職業・災害医学会会員
7. 日本食育学会員
8. 公益社団法人日本栄養士会会員
9. 公益社団法人高知県栄養士会会員
10. 土佐市プロジェクトメンバー
11. 高知県歯と口の健康推進検討会  
母子歯科保健対策ワーキング委員
12. 地域雇用創出推進協議会 アドバイザー

##### 【講演・講習会】

1. 土佐清水市介護予防講演会「介護予防のためのイキイキ食生活」講師 平成 27 年 6 月 18 日  
土佐清水市 足摺岬区長
2. 香美市介護予防講演会「介護予防のためのイキイキ食生活」講師 平成 27 年 8 月 20 日 香  
美市 プラザ八王子
3. 本山町公開講座「介護予防イキイキ食生活」講師 平成 27 年 9 月 10 日 本山町プラチナセ  
ンター
4. 土佐女子高等学校出前講座（高大連携）「健康栄養学」平成 27 年 10 月 7 日 土佐女子高等  
学校
5. オリーブオイルセミナー 「すばらしきオリーブオイルの世界～長い歴史と食文化を  
有する自然食品」コーディネーター 平成 27 年 11 月 3 日 高知市 高知共済会館
6. インスタントラーメン「健康と栄養」セミナー 運営スタッフ 平成 28 年 1 月 9 日 高知  
市 高知学園短期大学
7. 健康長寿センター70 周年記念事業特別公開講座「冬の季節の老化予防」講師 平成 28 年 2  
月 16 日 香南市 野市中央公民館
8. 南国市健康づくり講演会「バランスカードで遊びながら食生活改善のヒント」講師 平成  
28 年 3 月 15 日 南国市保健センター
9. とさっ子健診 土佐市保健センター 平成 27 年 8 月 23 日（日）、8 月 24 日（月）
10. とさっ子健診 土佐市保健センター 平成 27 年 12 月 7 日（土）

##### 【その他】

高知医療センター・高知県立大学包括連携協議会連携事業 「第 4 回慢性腎疾患（CKD）料理  
教室」 平成 27 年 12 月 22 日

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・基礎栄養学
- ・応用栄養学 I
- ・応用栄養学 II
- ・ライフステージ栄養学
- ・基礎栄養学実験
- ・応用栄養学実習
- ・生化学 I(オムニバス)
- ・介護等体験 (家庭科)
- ・教育実習 I (家庭科)
- ・教育実習 II (家庭科)
- ・教職実践演習 (家庭科)
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究

### 【大学院・人間生活学研究科 (修士課程)】

- ・栄養・生活特論 I (オムニバス)

## II. 研究活動

### 【論文】

1. NR. Ngatu, M. Ikeda, S. Kanbara, M. Inoue, M. Suzuki, H. Watanabe, M. Umebara, S. Nojima (2015) Potential health effects of green river Algae (Aonori) of the LPP Complex, with a reference to *Ulva prolifera*. *International Academy of Science, Engineering and Technology* 4(6), 1-8.

### 【学会発表】

1. M. Suzuki, S. Nakanishi, A. Yoshino, R. Morimoto. The mechanism by which egg white allergen, L-PGDS increases serum OVA-IgE level in OVA-sensitized mice, 12th Asian Congress of Nutrition, Japan (2015.5.16)
2. 鈴木 麻希子, 篠岡 沙季, 中川 あずさ, 清澤 秀孔, 山本 沙也加, 横路 三有紀. 加齢と高脂肪食はマウス大脳皮質における Sam68 複合体構成たんぱく質のアルギニンメチル化率を上昇させる, 第 38 回日本分子生物学会年会 第 88 回日本生化学会大会 合同大会, 神戸 (2015.12.2)
3. 森本亮祐, 山本沙也加, 津嘉山泉, 山本登志子, 鈴木麻希子, 山下広美, 高橋吉孝, 木本眞順美. ヒトのタンパク質アルギニンメチル基転移酵素 3 (PRMT3) に対するモノクローナル抗体の作製ならびに免疫学的性質, 第 38 回日本分子生物学会年会 第 88 回日本生化学会大会 合同大会, 神戸 (2015.12.2)

### 【報告書】

1. 鈴木麻希子 (2015) 加齢・生活習慣病のタンパク質アルギニンメチル化への影響とアルツハイマー病への役割. 平成 24・25・26 年度科学研究費補助金研究成果報告書

## III. 委員会活動

1. 共通教育部会員
2. 教職課程専門委員 (家庭科)
3. 教員免許状更新講習実施部会委員
4. 学年担当 (2014 年度入学生)
5. 高大接続改革WG委員

#### IV. 社会的活動

##### 【社会貢献活動】

1. 日本生化学会会員
2. 日本栄養・食糧学会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 社団法人 日本栄養士会会員
5. 社団法人 高知県栄養士会会員
6. 高知県小・中・高・大家庭科教育連合会 理事
7. 高知県歯科保健対策検討会委員
8. 高知県歯と口の健康づくり基本計画検討会委員

##### 【講演・講習会】

1. 平成 27 年度家庭科教員免許状更新講習(家庭科講師), 高知県教育委員会, 2015 年 8 月 19 日
2. 高知小津高校出前講座(高大連携)「高知県立大学健康栄養学部」2015 年 9 月 3 日
3. 家庭的保育の研修講義, 講師, 高知県教育委員会, 2015 年 9 月 21, 27 日

##### 【その他】

高知家の新名物料理アイデアコンテスト 審査員, 2015 年 8 月 28 日, 9 月 19 日

#### V. 研究助成

##### 【学外】

1. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 平成 27 年度 「新規卵白アレルギー L-PGDS の高感度定量法の開発と低アレルギー化」 170 万円
2. 公益財団法人 日本食品化学研究振興財団 平成 27 年度研究助成 「加工食品添加無機リンの定量法の開発 ～リン摂取量と血中動態との関係解明に向けて～」 90 万円

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・調理学
- ・調理学実習 I
- ・調理学実習 II
- ・調理学実習 III
- ・調理科学実験
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座 (オムニバス)

## II. 委員会活動

1. 学生委員
2. 総合情報センター運営委員
3. 図書部会委員
4. 情報処理部会委員
5. キャリア支援部会委員
6. 学部報編集委員

## III. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 日本ビタミン学会会員
3. 日本栄養改善学会会員

### 【講演・講習会】

土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業 (土佐 FBC II) 講師 2015 年 9 月 25 日

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・ 給食経営管理論
- ・ 給食計画論
- ・ 給食経営管理実習 I・II
- ・ 給食経営管理臨地実習
- ・ 地域実践栄養学臨地実習
- ・ 管理栄養士総合演習 I
- ・ 管理栄養士総合演習 II
- ・ 卒業研究

## II. 研究活動

### 【特別寄稿】

1. 島田郁子. 給食経営管理実習における災害食考案 サバイバルメシコンテスト. おいしさの科学ニュース, おいしさの科学研究所, 香川 (2016. 3. 15 発行)

### 【分担翻訳】

1. PINES (Professionals in nutrition for exercise and sport) 8-1 P6 (NPO 法人日本スポーツ栄養学会会員 HP 掲載 <http://www.jsna.org/news/news.html#news2015102801>)
2. PINES (Professionals in nutrition for exercise and sport) P6-7 (NPO 法人日本スポーツ栄養学会会員 HP <http://www.jsna.org/news/news.html#news2015102802>)
3. オーストラリアスポーツ栄養士会発行ファクトシート Dairy and Sports Performance3 ページ (NPO 法人日本スポーツ栄養学会)

### 【学会発表】

1. Chie Tokuhiro, Ikuko Shimada. Methods of evaluating school lunch-based shokuiku initiatives utilizing the local produce. 12<sup>th</sup> Asian Congress of Nutrition. Yokohama, (2015. 5. 16)
2. Ikuko Shiamda, Mami Okabe, Yuka Tagashira, Issaku Shinohara. HOW IS HAPPINESS DECIDED? —Report(1) on 12 happiness factors from everyday life environment as indexes—12<sup>th</sup> Asian Congress of Nutrition. Yokohama, (2015. 5. 16)
3. 島田郁子, 沼田聡, 大石早紗, 金谷和香, 桑村亜矢子, 柴田彩果, 島本亜弥, 真鍋知花, 渡邊浩幸. 高齢者給食サービスにおける食肉軟化剤使用条件の検討. 日本給食経営管理学会, 東京 (2015. 11. 29)
4. 沼田聡, 大石早紗, 金谷和香, 桑村亜矢子, 柴田彩果, 島本亜弥, 真鍋知花, 島田郁子. 給食経営管理実習における災害食教育への挑戦—サバイバルメシコンテストの試み—. 日本給食経営管理学会, 東京 (2015. 11. 29)
5. 渡邊浩幸, 島田郁子, 岡田英, 河野淑子, 荻沼一男. 高知県内食品企業への生産管理高度化支援産学連携学会, 札幌 (2015. 6. 26)
6. 沼田聡, 小松美幸, 大石早紗, 柴田彩果, 金谷和香, 桑村亜矢子, 島本亜弥, 真鍋知花, 北添稔博, 島田郁子. 施設における献立作成条件の検討—喫食率向上を目指して— 第35回食事療法学会, 愛知 (2015. 3. 5)

### 【報告書】

1. 島田郁子, 荒牧礼子, 田中守 (2016) マレーシア国立サバ大学との国際交流と今後の課題. 教育実践報告. ふまにすむす第27号 p10-13.

### Ⅲ. 委員会活動

1. 入試実施委員
2. センター入試部会員
3. 健康管理センター委員
4. 国際交流 WG メンバー
5. 臨地実習委員会

### Ⅳ. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. 土佐市社会福祉事業団理事
2. 土佐市立学校給食センター運営審議会委員
3. 土佐市学校給食センター建設工事基本設計及び実施設計委託業務に係る公募型技術提案審査委員
4. 南国市学校給食センター建設委員会委員
5. NPO 法人日本スポーツ栄養学会 国際交流委員会委員

#### 【講演・講習会】

1. 高知県栄養士会生涯学習基本研修 講師 2015年 6月6日
2. (公社)香川県栄養士会学校健康教育部 危機管理研修会「災害時の現実とその時求められるもの」講師 2015年9月26日
3. 生産管理高度化研修特別講座 「大量調理における衛生管理」講師 2015年10月19日
4. 生涯学習公開講座 於高知県立丸の内高等学校 講師 2015年12月7日
5. こうち難病相談支援センター 医療学習会・交流会「噛むこと・飲み込みづらさへの対応」講師 2016年1月21日
6. 生産管理高度化研修特別講座「アレルギー」運営スタッフ 2016年3月10日

#### 【その他】

1. 高知家ハッピーフェスティバル食育ブース担当 高知県少子対策課・高知県少子化対策推進県民会議 2015年11月3日

### V. 研究助成

#### 【学内】

1. 高知県立大学「科研費」獲得支援助成事業：「国際理解につなげる多民族国家との幸福度比較」40万円

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・臨床栄養学実習 I
- ・臨床栄養学実習 II
- ・臨床栄養学臨地実習 I
- ・臨床栄養学臨地実習 II
- ・地域実践栄養学 (オムニバス)
- ・地域実践栄養学臨地実習
- ・管理栄養士総合演習 I
- ・土佐の食と健康 (共通教養)
- ・ (オムニバス)
- ・チーム形成論 (共通教養) (共担)

## II. 委員会活動

1. 生涯学習部会
2. 災害対策プロジェクト委員
3. 管理栄養士国家試験対策委員
4. 医療センター連携委員
5. 臨地実習委員

## III. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 高知県栄養士会生涯教育委員
2. 公益社団法人日本栄養士会会員
3. 公益社団法人高知県栄養士会会員
4. 日本臨床栄養学会会員
5. 日本病態栄養学会会員
6. 日本静脈経腸栄養学会会員
7. 日本咀嚼学会会員
8. 日本災害食学会会員
9. 日本栄養改善学会会員
10. 日本栄養・食糧学会会員
11. 日本重症心身障害学会会員
12. 日本公衆衛生学会会員
13. 食事療法学会実行委員会

### 【講演・講習会】

1. 東洋町立甲浦小学校出前講座講師, 「巨大地震に備え今すべき食糧備蓄」 2015年12月22日
2. 平成27年度研究教育事業部中国・四国ブロック研修会講師, 「災害時の栄養管理の重要性について」 高知県立大学永国寺キャンパス 2016年3月27日



## I. 教育活動

### 【学部】

- ・生化学実験
- ・基礎栄養学実験
- ・運動生理学
- ・栄養教育論実習Ⅱ
- ・こころと身体活動
- ・管理栄養士国家試験対策講座

### 【全学】

- ・地域学実習Ⅰ

### 【非常勤】

- ・高知情報ビジネス専門学校製菓製パン科 食品学

## II. 研究活動

### 【論文】

1. 田中守, 香西はな, 岡本威明 (2015), 動物モデル系を用いた小麦依存性運動誘発アナフィラキシーの評価. アレルギーの臨床, 35, 68-73
2. 田頭歩佳, 加藤匡宏, 山内加奈子, 田中守, 岡本威明 (2016), ヒト好酸球性白血病由来細胞株 EoL-3 を用いた健康食品の安全性評価系の確立. 四国公衆衛生学会雑誌, 61, 125-132
3. Yoshinobu Yoshimoto, Yukituna Ooyama, Mamoru Tanaka, Asuka Sakamoto (2016), One-leg standing time of the affected side moderately predicts for post-discharge falls in community stroke patients. *J Stroke Cerebrovasc Dis*, s 1052-3057, (16), 00185-3

### 【学会発表】

1. Yoshinobu Yoshimoto, Yukituna Ooyama, Mamoru Tanaka, One-leg standing time of the affected side is the most predictive factors for post-discharge falls in community stroke patients. World Confederation for Physical Therapy congress 2015, Singapore (2015. 5. 1-4)
2. Mamoru Tanaka, Hiroyuki Watanabe, Hana Kozai, Yoshinobu Yoshimoto, Ikuko Shimada, Tomoko Hirouchi, Satoshi Numata, Ayuka Tagashira and Takeaki Okamoto. Degranulation inhibitory activity may depend on peptide binding and peptide sequence. The 12<sup>th</sup> Asian Congress of Nutrition, Yokohama (2015. 5. 14-18)
3. Ikuko Shimada, Asami Okabe, Ayuka Tagashira, Ichisaku Shinohara, Mamoru Tanaka, Satoshi Numata and Takeaki Okamoto. Which factors determine happiness?. The 12<sup>th</sup> Asian Congress of Nutrition, Yokohama (2015. 5. 14-18)
4. 田頭歩佳, 山内 明, 山内加奈子, 加藤匡宏, 田中守, 岡本威明. ヒト好塩基球の走化性とケモカインレセプター発現に及ぼす不純物 3-phenylamino-L-alanine (PAA) の影響. 日本食品科学工学会第 62 回大会, 京都 (2015. 8. 27-29)
5. 田頭歩佳, 山内 明, 山内加奈子, 加藤匡宏, 田中守, 岡本威明. ヒト好酸球を用いた健康直品の安全性評価系の確立. 第 62 回日本家政学会中国・四国大会, 鳥取 (2015. 9. 19-20)
6. Masaki Sasanuma, Hari Prasad Devkota, Mamoru Tanaka, Shuhei Noguchi, Narufumi Suganuma, Takashi Watanabe. An evaluation of useful plant resources in Kochi Prefecture for their TNF- $\alpha$  production and degranulation inhibitory activity. International Symposium on Chronic Inflammatory Diseases, Kumamoto (2015. 10. 16-17)

7. 田中守, 渡邊浩幸, 吉本好延, 香西はな, 田頭歩佳, 岡本威明. カゼイン由来ペプチドの抗アレルギー特性評価. 第48回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会, 広島(2015. 10. 31-11. 1)
8. Takeaki Okamoto, Naeko Kuroshita, Ayuka T Tagashira, Mamoru Tanaka, Takuya Sugahara, Satoshi Okano, Sengo Kobayashi. Effect of vitamin E on osteoblast-like MC3T3-E1 cells. 6th ICoFF, Seoul (2015. 11. 22~25) (ポスター賞受賞)
9. 坂本一美, 渡邊絵里香, 楠瀬和佳奈, 佐賀啓子, 十萬敬子, 森本智代, 渡邊慶子, 田中守, 澁谷祐一. 腎移植患者の術前術後における体制分変化と栄養指標の検討. 第19回日本病態栄養学会年次学術集会, 横浜 (2016. 1. 9-10)
10. 田中守, 渡邊慶子, 小谷小枝, 坂本一美, 吉松香絵, 楠瀬和佳奈, 安田春奈, 吉本好延, 森田莊二郎. 管理栄養士記録を用いた食道がん治療と食変化の関連性の評価. 第35回食事療法学会, 愛知 (2016. 3. 5-6)
11. 渡邊慶子, 田中守, 小谷小枝, 坂本一美, 吉松香絵, 楠瀬和佳奈, 安田春奈, 吉本好延, 森田莊二郎. 頭頸部、胸部上部食道がん治療と食変化に関する検討. 第35回食事療法学会, 愛知 (2016. 3. 5-6)
12. 十萬敬子, 佐賀啓子, 小谷小枝, 坂本一美, 楠瀬和佳奈, 安田春奈, 渡邊慶子, 田中守, 沼田聡, 菅野尚. 2型糖尿病肥満患者における栄養指導の効果について. 第35回食事療法学会, 愛知 (2016. 3. 5-6)

#### 【報告書】

1. 島田郁子, 荒牧礼子, 田中守 (2016), マレーシア国立サバ大学との国際交流と今後の課題. ふまにすむす, 27号, pp.10-13

### Ⅲ. 委員会活動

1. 入試監査委員
2. 管理栄養士国家試験対策委員
3. 学年副担当 (2014年度入学生)
4. 国際交流ワーキンググループ

### Ⅳ. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. 日本栄養食糧学会会員
2. 日本食品科学工学会会員
3. 日本公衆栄養学会会員
4. 生物機能研究所会員
5. 川崎医療福祉学会会員
6. 日本重症心身障害学会会員
7. 公益社団法人日本栄養士会会員
8. 公益社団法人高知県栄養士会会員
9. 公益社団法人高知県栄養士会会員・生涯学習委員会メンバー
10. 日本家政学会会員
11. 食事療法学会実行委員

#### 【講演・講習会】

1. 日本アジア史少年サイエンス事業 (さくらサイエンスプラン) 「研究内容紹介」2015年9月30日

2. 第24回シーズ・研究内容紹介「機能性成分～抗アレルギー食品の開発を目指した素材探索～」講師，産学官民連系センター，2016年2月24日.
3. 生産管理高度化研修特別講座「アレルギー」講師 高知県立大学池キャンパス, 2016年3月10日

**【その他】**

1. 学生プロジェクト立志社中「それいけ！大野見エコ米～No Rice No Life～」指導者
2. 日本栄養士会中国・四国ブロック教育研究部会研修会 運営「災害・災害食についての研修会」2016年3月27日 高知県立大学永国寺キャンパス

**V. 研究助成**

**【学内】**

1. 平成27年度高知県立大学「科研費」獲得支援助成事業：迅速で簡便な抗アレルギー活性評価系の構築

**【学外】**

1. 分担研究 科学研究費補助金 基盤研究 (B) :平成26-28年度「アグリフォレストリーのための森林・有用植物資源の賦存量の評価・予測モデルの構築」 主任研究者：高木万隆（高知工科大学）
2. 分担研究 科学研究費補助金 基盤研究 (C) :平成27-29年度「新規卵白アレルギー L-PGDS の高感度定量法の開発と低アレルギー化」

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・ 給食経営管理実習 I・II
- ・ 応用栄養学実習
- ・ 環境衛生学実習
- ・ 給食経営管理臨地実習
- ・ 地域学実習 I (共通教養科目)
- ・ 地域実践栄養学臨地実習
- ・ 管理栄養士総合演習 I
- ・ 卒業研究
- ・ 管理栄養士国家試験対策講座 (給食経営管理分野) (オムニバス)

### 【看護学部】

- ・ 栄養学 (オムニバス)

### 【非常勤】

- ・ 学校法人龍馬学園 高知情報ビジネス専門学校 製菓製パン科 栄養学

## II. 研究活動

### 【論文】

1. Satoshi Numata, Hideki Katakami, Shinobu Inoue, Hirotake Sawada, Seiichi Hashida (2016) Development of a novel ultra-sensitive enzyme immunoassay for human GAD65 antibody. *Ann Clin Biochem* (Epub ahead of print)

### 【学会発表】

1. Mamoru Tanaka, Hiroyuki Watanabe, Hana Kozai, Yoshinobu Yoshimoto, Ikuko Shimada, Tomoko Hirouchi, Satoshi Numata, Ayuka Tagashira, Takeaki Okamoto. Degranulation Inhibitory Activity May Depend on Peptide Binding and Peptide Sequence, 12 th Asian Congress of Nutrition (ACN2015), Yokohama (2015. 5. 17)
2. Ikuko Shimada, Asami Okabe, Ayuka Tagashira, Ichisaku Shinohara, Mamoru Tanaka, Satoshi Numata, Takeaki Okamoto. How is happiness decided? 12 th Asian Congress of Nutrition (ACN2015), Yokohama (2015. 5. 17)
3. 沼田 聡, 片上秀喜, 井上 忍, 澤田浩武, 橋田誠一. グルタミン酸脱炭酸酵素 (GAD) 抗体に対する高感度酵素免疫測定法の開発. 第 48 回日本栄養食糧学会中四国支部大会, 広島 (2015. 11. 1)
4. 島田郁子, 小松美幸, 大石早紗, 金谷和香, 桑村亜矢子, 柴田彩果, 島本亜弥, 真鍋知花, 沼田 聡. 高齢者給食サービスにおける食肉軟化剤使用条件の検討. 第11回日本給食経営管理学会学術総会, 東京 (2015. 11. 29)
5. 沼田 聡, 大石早紗, 金谷和香, 桑村亜矢子, 柴田彩果, 島本亜弥, 真鍋知花, 島田郁子. 給食経営管理実習における災害食教育への挑戦ーサバイバルメシコンテストの試みー. 第 11 回日本給食経営管理学会学術総会, 東京 (2015. 11. 29)
6. 片上秀喜, 沼田 聡, 井上 忍, 澤田浩武, 橋田誠一. 抗 GAD 自己抗体 (GADAb) に対する新規超高感度測定法 (ICT-EIA) の開発と臨床応用, 第 53 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会, 横浜 (2016. 1. 23)
7. 沼田 聡, 小松美幸, 大石早紗, 柴田彩果, 金谷和香, 桑村亜矢子, 島本亜弥, 真鍋知花, 北添稔博, 島田郁子. 施設における献立作成条件の検討ー喫食率向上を目指してー, 第 35 回食事療法学会, 名古屋 (2016. 3. 6)

### Ⅲ. 委員会活動

1. 入試監査委員
2. 臨地実習委員 (学部)
3. 国際交流ワーキンググループ (学部)
4. 学年副担任 (2015 年度入学生)

### Ⅳ. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. 日本栄養食糧学会会員
2. 日本栄養改善学会会員
3. 日本給食経営管理学会会員
4. 日本食品保蔵科学学会会員
5. 日本農村医学会会員
6. 公益社団法人日本栄養士会会員
7. 公益社団法人高知県栄養士会会員

#### 【講演・講習会】

1. エルムズ大学留学生調理実習講師「Let's make the tofu」2015年6月1日
2. 高知県栄養士会生涯学習講師補助「栄養管理プロセス」2015年6月6日
3. 日本・アジア史少年サイエンス交流事業 (さくらサイエンスプラン) 「研究内容紹介」  
2015年9月30日
4. 食品加工生産管理高度化研修補助「大量調理における衛生管理」2015年10月19日
5. 高知県・高知県少子化対策推進県民会議主催「高知家ハッピーフェスティバル」2015年  
11月3日
6. 高知大学主催分科会ファシリテーター「学生が語る「地域に関わる」ということ」2016年  
2月20日
7. マレーシアサバ大学 食品科学・栄養学部「My research subject.」2016年3月11日

#### 【その他】

1. 日本栄養士会研究教育事業部中国・四国ブロック研修会運営「災害・災害食についての研修  
会」2016年3月27日
2. 学生プロジェクト立志社中「それいけ！大野見エコ米～No Rice No Life～」指導者

### Ⅴ. 研究助成

#### 【学外】

1. 科学研究費補助金 若手研究 (B) : 平成 27- 28 年度「卵白アレルギーに対する迅速な超高  
感度酵素免疫測定法の開発」
2. 科学研究費補助金 基盤研究 (C) : 平成 27- 29 年度「新規卵白アレルギー L-PGDS の高感  
度定量法の開発と低アレルギー化」分担研究

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・臨床栄養学実習 I
- ・臨床栄養学実習 II
- ・地域公衆栄養学実習
- ・環境衛生学実習
- ・食と介護（実習）
- ・地域実践栄養学臨地実習
- ・地域公衆栄養学臨地実習
- ・臨床栄養学臨地実習 I
- ・臨床栄養学臨地実習 II

## II. 研究活動

### 【学会発表】

1. 水島直子, 荒牧礼子. 市販菓子類の PFC バランスと女子高校生の菓子摂取状況に関する検討, 第 7 回日本未病システム学会近畿地方会・第 12 回日本未病システム学会栄養部会講演会 大阪 (2015.9.5)

## III. 委員会活動

1. 入試実施委員
2. FD 委員
3. 臨地実習委員
4. 学年副担当 (2013 年度入学生)

## IV. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 公益社団法人高知県栄養士会栄養士佐はちきん編集委員
2. 公益社団法人日本栄養士会会員
3. 公益社団法人高知県栄養士会会員
4. 日本病態栄養学会会員
5. 日本静脈経腸栄養学会
6. 日本栄養改善学会会員
7. 日本未病システム学会会員

### 【講演・講習会】

1. 公益社団法人高知県看護協会平成 27 年度中堅看護職員実務研修講師「慢性腎臓病患者の食事療法と在宅移行への食事支援」2015 年 9 月 14 日
2. 高知県立大学健康長寿センター平成 27 年度高知県中山間地域等訪問看護師育成講座「訪問看護スタートアップ研修」講師「栄養アセスメントと食事の工夫」2015 年 11 月 24 日
3. 高知県立大学創基 70 周年記念事業特別公開講座高知県立大学健康長寿センター体験型セミナー「冬の季節の老化予防ー寒い季節の皮膚のトラブル対処を考えましようー」講師「噛む力を調べてみましょう」

### 【その他】 2016 年 2 月 16 日

1. 健康長寿センター事業 土佐市連携事業「地域ケア会議推進プロジェクト」プロジェクトスタッフ
2. 「高知県版地域ケア会議マニュアル」検討委員会委員

### I. 教育活動

#### 【学部】

- ・調理学実習Ⅰ
- ・調理学実習Ⅱ
- ・調理学実習Ⅲ
- ・調理科学実験
- ・食品衛生学実験(オムニバス)
- ・生体科学実験・実習
- ・健康情報論実習(オムニバス)

### II. 研究活動

#### 【その他】

1. 渡邊浩幸, 彼末富貴 (2016) 県民大学から伝えたいこと「高知の魚をたべよう！」魚消費拡大のために. 高知県立大学地域研究センター産官学研究部会, 3-14, 付録1-2.
2. 松崎淳子, 彼末富貴 (2015) 平成28年度版ファミリー日誌. 全国農林統計協会連合会 72-73, 261
3. 松崎淳子, 彼末富貴 (2015) うまいもんレシピ「さば」押しずし. 玉手箱 Vol.96, 13 (社福) 高知県社会福祉協議会

### III. 委員会活動

1. 学部広報委員
2. 学部報編集委員

### IV. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. よい食生活をすすめるネットワーク役員
2. 土佐伝統食研究会会員
3. 公益社団法人日本栄養士会会員
4. 日本栄養改善学会会員
5. 社団法人日本家政学会会員
6. 社団法人日本調理科学会会員

#### 【講演・講習会等】

1. 高知県栄養士会生涯教育実務研修会「食育と地域貢献」講師 2015年8月30日こうち男女共同参画ソーレセンター
2. ソーレまつり2016 親子でご飯づくり 一巻きずしを作って、皿鉢に盛ってみよう！講師 2016年1月24日こうち男女共同参画ソーレセンター
3. 高知県水産物PRキャンペーン「親子おさかな料理教室」講師 高知市中央卸売市場 2015年8月1日, 9月5日, 11月7日, 12月5日, 2016年2月6日
4. 土佐山内家宝物資料館職員の高知の食材を使った実習「土佐の食卓より」講師 2016年2月19日(金) 高知市文化プラザかるぼーと

#### 【その他】

1. 第4回ものづくり総合技術展 本学展示協力 高知市, 2015年10月29日(木)~31日(土)
2. 第7回高知のやさい・くだもの・花フェスタ「ワークショップマルシェ」運営協力 高知市, 1月30日(土) 31日(日)
3. 土佐のお客を見直すつどい 開催協力 2016年2月14日(日) 城西館
4. 高知県教育委員会「すくすくリズムで元気モリモリ！」2015年10月 簡単レシピ提案
6. 日本栄養士会中国四国ブロック教育研究部会研修会 運営協力 2016年3月27日 高知県立大学永国寺キャンパス

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・食品学実験
- ・卒業研究
- ・食品衛生学実験(オムニバス)

## II. 研究活動

### 【学会発表】

1. Yasuhiro Kozuki , Mami Kawamura , Yuri Nakashima , Yasuhide Okuhara , Yukihiro Ito , Reiko Osato-Sasada , Toshitsugu Sato , Hiroyuki Watanabe :Anti-proliferative effects and quantitative structure-activity relationship of phytosterols and other sterols on Colon-26 cells, 12th Asian Congress of Nutrition, Yokohama JAPAN, may 16, 2015
2. 渡邊浩幸, 川村真美, 田中伸幸:高脂肪食給与マウスにおけるカンナデンプンの抗肥満作用, 第36回日本肥満学会(名古屋市), 2015年10月3日

### 【その他】

『大腸がん抑制に関する研究』の内容に関する特許を取得した。

発明の名称：抗悪性腫瘍組成物

特許出願番号：特願 2016-043300

発明者：酒井智文, 相部かおり, 太田慶彦, 渡邊浩幸, 川村真美, 小築康弘

特許出願人：株式会社ファンケル

提出日：平成 28 年 3 月 7 日

## III. 委員会活動

1. 災害プロジェクト委員
2. 就職担当(学部)
3. 学年副担当 (平成 24 年度入学生)

## IV. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 日本肥満学会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 社団法人 日本栄養士会会員
5. 社団法人 高知県栄養士会会員

### 【その他】

1. 第3回ものづくり総合技術展 本学展示ブース準備運営協力スタッフ, 高知市, 2015年10月29日(木)~30日(金)
2. 生産管理高度化研修特別講座「アレルギー」運営協力スタッフ 高知県立大学池キャンパス, 2016年3月10日
3. 日本栄養士会中国四国ブロック教育研究部会研修会 運営協力, 2016年3月27日, 高知県立大学永国寺キャンパス



## I. 教育活動

### 【学部】

- ・ 栄養教育論 I
- ・ 栄養教育論 II
- ・ 栄養教育論 III
- ・ 栄養教育論実習 I
- ・ 栄養教育論実習 II
- ・ 学校栄養指導論 I
- ・ 学校栄養指導論 II
- ・ 学校栄養教育実習(事前・事後指導を含む)
- ・ 教職実践演習(栄養)
- ・ 総合演習(管理栄養士)(オムニバス)
- ・ 卒業研究

### 【大学院】

- ・ 栄養・生活特論 I (オムニバス)
- ・ 栄養・生活特論 II (オムニバス)
- ・ 食生活論演習(オムニバス)

### 【非常勤】

- ・ 松山大学 薬学部
- ・ 四国中央医療福祉総合学院

## II. 研究活動

### 【著書】

1. 本田佳子編 逸見幾代他：Trainee Guide 栄養食事療法の実習 栄養ケアマネジメント 第11版 (2016)、医歯薬出版
2. 逸見幾代・佐藤香苗 編著：改訂 マスター栄養教育論 第1章 栄養教育の概念 (2016)、建帛社
3. 市丸雄平・岡純 編 逸見幾代他：三訂マスター応用栄養学「第1章 栄養マネジメント(栄養管理)」第8章 学童期、(2015)、建帛社
4. 逸見幾代・津田とみ編：三訂臨床栄養学実習－栄養補給マネジメント実務－第1章 臨床栄養学実習と医療機関における栄養管理、第5章 栄養補給マネジメント 3-2 エネルギーコントロール食、(2016)、建帛社

### 【学会発表】

1. 逸見幾代、西村栄恵、嶋田さおり：青年成人期における食事バランスガイドを活用した食育にむけての一考察～5年間の食事内容の時系列分析 2. 第62回日本栄養改善学会、栄養学雑誌 Vol. 73、No. 5、2015
2. 西村栄恵、逸見幾代、嶋田さおり、土海一美：青年成人期にある若年者の食生活調査～食育手法を検討するために～第6報. 第62回日本栄養改善学会 栄養学雑誌 Vol. 73、No. 5、2015
3. 嶋田さおり、西村栄恵、逸見幾代：継続的な食育による保護者の食意識の変化. 第62回日本栄養改善学会 栄養学雑誌 Vol. 73、No. 5、2015

## III. 委員会活動

1. 教職課程専門委員
2. 学部運営委員 (学部)
3. 教員免許状更新講習実施部会委員

## IV. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 日本栄養改善学会評議員
2. 日本栄養・食糧学会会員
3. 日本公衆衛生学会会員
4. 日本食生活学会会員
5. 東温市食育推進協議会委員
6. 東温スタディー運営委員
7. 愛媛県中山間地域等直接支払制度審議委員
8. 愛媛県海区漁区調整委員会委員（全国海区漁区調整委員会 10 年表彰）
9. 高知県食育推進協議会委員
10. よさこいジビエ料理コンテスト審査委員
11. 高知県公立学校教員採用筆記審査問題研究員
12. 香川栄養学園 家庭料理技能検定委員
13. 香友会愛媛支部支部長
14. 日本栄養士会会員

### 【講演・講習会】

1. 食育推進「加工体験と意見交換会」2015 年
2. 東温スタディー健診・保健指導参画 2015 年 7 月～11 月
3. 高知市内中学生と朝食づくり 献立・調理指導、朝食の重要性のミニ講義 2015 年 7 月
4. 高齢者訪問栄養調査

高知県立大学健康栄養学部 学部報 第6号  
平成27(2015)年度版

発行日：平成28年7月31日

編集：高知県立大学健康栄養学部 学部報編集委員

発行：高知県立大学健康栄養学部

〒781-8515 高知市池2751番地1

電話 (088) 847-8700(代)

